京城日報

九月三日夕刊（朝夕併せて八頁）

本紙定價 一ヶ月金七十五錢 郵稅 ……
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢 ……
發行兼編輯人 奧山直穀
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

◇イマン占領詳報 ―鐵橋破壞敵兵捕虜― 十二師團主力前進準備中

陸軍省公表＝我騎兵隊は（騎兵十二聯隊の主力歩兵一中隊及びカルムイコフ枝隊）八月三十日イマンを占領し三十一日同地出發ビキンに向ひたり十二師團の主力は九月一日依然烏蘇里驛附近にありて前進準備中なりイマン鐵橋は我歩兵部隊に依り確實に占領せられあり退却中なる敵は其後尾に裝甲列車を備へ行く〳〵我追擊を阻碍しつゝあり二十八日夜半イマン南端の鐵橋破壞を行へる敵兵九名は我騎馬部隊の爲め捕獲さるる處となれりシマコフカ以南の鐵道は三十一日開通せり（東京特電）

◇敵騎兵潰走 アバー方面我部隊活躍

廿七日陸軍省公表＝アバー街道方面に派遣されし我部隊は八月三十日合同地西南約八基米突の地點にて敵騎約百名と遭遇砲擊の後散亂せしめたり（東京特電）

◇ハ市占領說

哈爾賓來電＝ハバロフスクは日本軍に占領せられたりとの說あり（東京電報）

◇英軍司令官出發

西伯利派遣英軍司令官ノックス少將一行六名は二日午後六時東京驛發敦賀に赴き浦鹽に向ひたり（東京特電）

◇佛軍大捷 リアソンコーシ街道敵襲擊退 諸村落占領＝ル將軍退却繼續

英軍がバポーム及びコンアル占領中佛軍はソンム左岸に前進を繼けたるが佛軍は過去一週間連戰連勝せりノアイヨンに於けるド、ノード運河は最早獨軍の妨害を受けざるに至れるがズァーブ兵及アルゼリア兵よりなるハムバート軍はノアイヨン市を包圍し獨軍の精銳と對戰の後之を擊破して市內に入り佛軍は敵を粉碎して郊外諸村落を占領し北方及びショーユー街道に沿ひ前進しつゝあり一方マンジャン將軍はオアズ河を渉りハムバート軍と相接して戰線を確立しオアズ、コーシー間にてエーレット河を越ねコーシー森林の下部に達しゾアソン、コーシー街道にて敵の逆襲を擊退したり此の街道はシユマン、デダムへの門戶に當り極めて重要の地なりアラス、レンス間戰線は之により百八十粁に縮小しルーデンドルフ將軍は依然退却繼續の外無きに至れり（巴里電報）

◇南軍瀏陽占領

某所著電＝湖南省瀏陽は八月二十九日南軍に占領され北軍は瀏陽を距る四十四支里の地點に退却し南軍は之れを追擊中なり三十日朝以來督軍張敬堯氏は同方面に對し北軍兵力を增加したるも南軍には土匪加擔し居れるを以て勢力侮る可からずと（東京特電）

◇韶州占領さる

某所著電＝廣東省韶州府は三十一日南軍に占領され道尹知事等は廈門に遁れたり爲に同地在留邦人は恐慌を來し居れり（東京特電）

◇段內閣總辭職か

段總理は三十一日開會の閣議に於て大總統選舉終了後辭職すべき旨を發表し各總長も共に辭職する事に申合を爲したり（北京電報）

◇總統選舉は四日 副總統に徐唐兩氏選擧計畫

大總統選舉は四日と決定せるも副總統選舉は候補者未定なるを以て選延す可く南北の調和妥協を圖るには南方側より副總統として陸榮廷唐繼堯氏の何れかを擧げんとしつゝあるも實現さるゝや否や疑問なりと（北京特電）

◇電話借欵と費用

旣報英國マルコニー會社對支那交通部との間に成れる無線電話借欵は其の筋にも內報ありたるが右は金額六十萬圓にて契約に依る二百萬の電話機械附に要する費用は三十萬圓にて足る可く殘三十萬圓の使途に就きては注目されつゝあるが當局にては右借欵が支那政府對中日實業との電話借欵に抵觸せずやと目下調査中なり（東京特電）

◇內閣辭職說無根 首相山公會見用向＝所謂臆測

寺內首相は一日山縣公訪問の歸途大磯一泊二日午前十時五十分東京驛着歸京せるが政界の一角には山縣公との會見を以て總辭職に就き最後の相談を爲したりなど傳へ居れるも全然虛說にて右は西伯利戰線擴張問題に關し山縣公の意見を徵すると同時に米價騷擾事件發生以來の內外重要政務に關する經過報告を爲したりと傳へらる（東京特電）

◇外調議題 四日開會

四日開かる可き外交調査會にては西伯利方面增兵、北滿方面進擊等の重要問題に就き審議すべし（東京特電）

◇國民黨幹事會

國民黨にては二日午後十時より本部にて幹事會開會鈴木幹事長以下前川堀川兩幹事、高木政務調査委員長其他出席米價調節に關して協議し來る五日政務、財政聯合協議會を開會すべし（東京特電）

◇下旬對外貿易 累計出超一億九百萬圓

八月下旬對外貿易は輸出六千七百五十四萬五千圓輸入四千三百三十七萬七千圓一月以來累計輸出十二億二百九十一萬七千圓輸入十億九千三百一萬九千圓累計輸出超過一億九百八十九萬八千圓なり（東京特電）

◇常盤艦歸港

海軍省公表＝昨冬以來太平洋警備の任にありし帝國軍艦常盤は一日吳に歸港せり（東京特電）

◎政務總監出張

山縣政務總監は三日朝南大門驛發京釜沿線へ出張せるが序を以て秋へ赴くべき夫人と途中迄同行せり

◎金銀製品府令

金若くは銀を主なる材料とする製品又は金若くは銀の合金を輸出せむとする者は朝鮮總督の許可を受くべく右の規定に違反したる者は三月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處せらるべき旨府令を以て四日附官報布即日施行さるべし

◎定例長官會議

三日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督を始め各部局長並に所屬官署長出席諸般政務に就き夫々審議する處ありたり

◎辭令

二日附を以て左の通り辭令ありたり

正七位 入江善太郎

任總督府技師（六等） 土木局營繕課勤務を命す 總督府中央試驗所技師兼京城工業專門學校敎授 梅福紀一

任總督府技師（七等） 農商工部商工課勤務を命す 京城工業專門學校助敎授 木村俊吉

兼任總督府中央試驗所技師（七等）

任總督府遞信技手 中川銀三郎

任總督府遞信技師（七等） 遞信技手 韓榮烈

任總督府郡守（八等） 慶南梁山郡在勤を命す 同 殷衡奭

昌寧郡在勤を命す 同 元助常

密陽郡在勤を命す 公立普通學校敎諭 高畠正雄

任京城公立農業學校敎諭（六等）

◎有望なる元山淸津 補助港としての將來

京都法科大學敎授山本美越乃氏は鮮滿經濟狀況視察中の處一日朝下關着直ちに歸任せり其談に曰く大連旅順京城の如き調査の便宜ある地には一週間以上滯在したるが詳細は歸任の上統計書類により起草する筈なるが大體觀としては

▲北鮮地方 の將來は經濟上重要なる地位を占むべき形勢にあるを看取せり現在の狀態にては滿鐵の大連集中策により凡ての貨物が此地に堆積し居り營口の如きも此影響を受けて振はざるが吉會線完成し一方平壤元山線も既に調査終了せるを以て其中敷設さるるに至るべく此場合に於ける運賃關係を見るに貨物は奉天方面より元山に向ひ長春以北は淸津に集まるべき經濟上の情勢にあり滿鐵は內地の鐵道と異り思ひ切つたる商業法を採用するを以て運賃政策により遠距離低減法等を極端に利用せんか或ひは大連釜山の繁榮を維持し得べきやも測られずと雖も斷然の如きは

▲貨車の不足 貨物の堆積等を起す事あり元山淸津は大連釜山の如き良港に非ざるも相當の設備を加ふれば大連の補助港としては差支なきに至るべく運輸の聯絡設備を完成し大阪名古屋間に聯絡を保たば纖維布の如き內地よりの貨物暫時は金融機關等の關係もあり淸津を通過するに至るやも測られず大體に於て滿洲の貨物は大連にのみ集中するよりは營口淸津元山の如き補助港に分割するを以て正當とすべきが如し北滿の貨物は大豆材木を主とす高粱粟の如きも支那人の食料としては

▲重要品なる を以て之を奬勵するの必要あり今日に於ては滿蒙とも農產は主要のものなるが撫順立山方面の鐵石炭其他工業は農業以上に有望なり唯土地所有權は支那人にあるを以て合辨の經營法に依らざる可からず（門司）

◎鮮米增收一割か 鮮米增收豫想と食料問題 川上東拓理事談

本年朝鮮に於る米作の豫想に付川上東拓理事は曰く目下の所各地の稻況は概して平年作を超ゆるの唯秋に至り幾干の增收となるかが問題であらう一部の人は一割增の豫想をし又一部の人は二割增の觀測をしてるるが先づ予は一割增位と云ふ說に左袒する何故ならば本年の植付けは挿秧時の降雨適順なりしため餘程具合よく行つてはるる西鮮の黃海道の如き殊によい然し乍ら惜しい事には土用中の照り込みが十分と云へなかつた乃で

▲柄は十一分 に伸びてゐるけれど果してその實入りが十二分であるか疑はしい輸入れ不足の聲を出さぬかどうかこれ予の一割增を唱ゆる理由であるそれから本年は早冷が來はせぬ乎と云ふ事を大分氣遣はれてゐる或は來るかも知れぬ然しもう多少の早冷があつても極端な寒氣を見ざる限り平年作を下る事は萬あるまい之れに反し秋晴が尙ほよく續けば一割の增收は一割五分になるかも知れず要するに今後の朝鮮米作は樂觀して可なり然し乍ら米價は著しい低落は望み難いであらう

▲鮮米增收見込 內地の食料問題を論ずるに朝鮮米は頗る重要な地位に立つ事となつたが目下朝鮮の平年作たる一千二百萬石を將來如何なる程度まで殖やして行けるかと云ふ事の觀測は中々困難の問題だ予の觀る所では官民一致し水利事業を進め金肥を施し稻子の改良を行つて行く事にすれば現在より三百萬石乃至四百萬石の增收を期する事は四五年中には必ず可能であらう、然し乍ら四五年中に朝鮮で三百萬石乃至四百萬石へらるる

▲現在の一倍 乃ち二千四五百萬石にする事は可能であらうと云ふ意見を抱持せる人もあるらしい予等もその說を不當とはせぬならうと思ふのであるが如何にしても左樣な時期の到來は事實にしてその時期が五年や八年の後に來るべしとは信ぜられぬ日本の食料問題は斯樣な點から觀察すると到底自作自給方針のみでは解決は出來ぬ何等かの方法により之を支那方面に見出す外はあるまいと考へる

◎列車時刻大變更 各線共九月九日より實行

滿鐵京城管理局々線內は止むを得ざる事情の爲九月九日より各線（淸會線を除く）共客車及び混合列車の從來定時刻運轉を休止し左の如く列車を運轉する事となりたり

▲釜山安東間 尙一回は不定直通せず

釜山發	午前七時二十分
南大門著	午前四時五十三分
南大門發	午前五時二十分
安東著	翌午前三時五十分

▲安東釜山間

安東發	午前八時十二分
南大門著	翌日午前八時卅二分
南大門發	午前九時二十分
釜山著	翌午前四時二十四分

▲京元線（一回）

南大門發	午前六時
元山著	午後四時三十分
元山發	午前九時
南大門著	午後七時四十七分

▲京仁線（二回）

南大門發	午前十時
仁川著	零時五分
仁川發	午後八時
南大門著	同十時十分
仁川發	午前六時四十分
南大門著	同九時〇九分
仁川發	午後四時五十分
南大門著	午後七時四十四分

▲湖南線（一回）

大田發	午前八時
木浦著	午後八時四十分
木浦發	午前八時三十分
大田著	午後八時二十分

▲馬山三浪津間（二回）

三浪津發	午前九時三十九分
馬山著	同十一時八分
馬山發	午後三時二十三分
三浪津著	四時五十五分
馬山發	午前七時
三浪津著	八時卅五分
馬山發	午後十二時四十七分
三浪津著	二時十九分

▲平壤鎭南浦間（三回）

平壤發	午前八時五分
鎭南浦著	九時五十五分
平壤發	午後五時
鎭南浦著	六時五十分
鎭南浦發	午前十時
平壤著	零時五十分
鎭南浦發	午後七時三十分
平壤著	九時十分

尙ほ釜山安東間は尙ほ一回の運行ある筈なれど不定期にて又輸送の狀態により或は運轉せざるやも圖られず之時間は朝刊に報ずべし

◎鐵道員著期

時局の關係其他に據り朝鮮鐵道從業員の不足を來し應急策を講じつゝありしが愈々左記日割を以て鐵道各管理局より派遣する事に決したる旨其筋に通知ありたり（釜山）

▲東管百卅名四日夜釜山著 ▲九管二十名五日朝著釜 ▲西管六十四名同上

◎農銀株賣結果 プレミヤム好況

殖產銀行設立事務所にては中村野坂兩幹事その他立會の上三日午前十時より農工銀行失權株の入札を行ひたるが開札の結果農銀二十圓拂込一株（殖產銀行額面五十圓一株二十圓拂込となる）三十圓にて五十株二十八圓五十錢にて四百三十一株落札となりプレミヤム八圓五十錢乃至十圓の好況を呈したり尙ほ殖銀株のプレミヤムは東京大阪朝鮮各地共五圓七圓十圓等區々なりしが今回の公入札は略プレミヤムの標準を示せるものとも云ひ得べく今後の賣買は最低十圓のプレミアム附きとなるべき模樣なり尙ほ當日入札參加者は三十餘名ありしと

◎學校組合歲入

京城學校組合會の認定を經たる組合決算歲入各科目に就き其の豫算額調定額及び收入濟額狀況を比較すれば左の如し

▲戶別割 豫算額十五萬六千五百四十四圓に對する調定額十六萬四百二圓四十五錢內收入濟額十五萬四千九百四十二圓十三錢

▲學校授業料 豫算額五萬一千三百九十圓に對し調定額五萬八百三十二圓十五錢內收入濟額五萬七百六十圓廿八錢

▲幼稚園保育料 一千六百五十四圓の豫算額に對する調定額一千六百二十九圓全部收入完了

▲督促手數料 豫算額一千六百五十圓に對し調定額二千七百八十一圓七十二錢內收入濟額二千二百廿四圓六十錢

▲基本財產收入 豫算額九百九十五圓に對し調定額一千二百九十八圓七十八錢內收入濟額一千二百九十八圓七十八錢

▲貸地料 豫算額一萬一千三百四圓に對し調定額一萬一千三百八十四圓七十六錢內收入濟額一萬一千三百十八圓五十二錢

▲貸家料 豫算額八百四十圓に對し六百八圓三十三錢の調定額全部收入完了

▲運用金利子 豫算額二百十九圓調定額百四十五圓四十錢同額收入あり

▲物品賣却代 豫算額百圓に對し調定額九十六圓十三錢同額の收入あり

▲滯納處分辨償金 豫算額百圓に對し二十三圓七十四錢の調定同額の收入を見たり

▲雜入 百十圓の豫算額に對し調定額金額の收入ありたり

▲前年度繰越金 豫算額二萬五千六百六十一圓に對し調定額二萬五千六百六十一圓五十二錢全額の收入

▲過年度收入 豫算額に於て三千圓を計上せしが調定額五千二十五圓四十七錢內收入濟額一千六百九十四圓二十八錢五厘

▲國庫補助金 二萬八千二百四十五圓の豫算額に對し調定額二萬八千三百二十五圓同額の收入あり

▲敎育基本財產指定寄附金 豫算額二千四圓調定額一千五百八十五圓同額の收入

▲寄附金 豫算額八百圓調定額一千四十圓同額の收入あり

▲財產賣却代金 豫算額五十圓調定額五十圓

即ち歲入合計に於て豫算額二十八萬四千六百六十三圓に對し二十九萬一千三百八十六圓五錢の調定を見二十八萬一千八百四十八圓七十一錢五厘の收入濟額となれり

◎道視學講習會 開會

九月九日より十四日迄六日間總督府第二會議室に於て道視學講習會を開會すべきが開會當日は宇佐美內務部長官並に關屋局長の訓示あるべく翌十日より十二日迄三日間は京城市內各學校の實地視察十三日十四日の兩日は講話ある筈なり

◎朝鮮藥學會大會

朝鮮藥學會にては來る十四日（土曜日）午後一時より京城大平通銀行集會所に於て大會を開催すべく席上帝國大學名譽敎授藥學博士丹波敬三氏の講演ある由

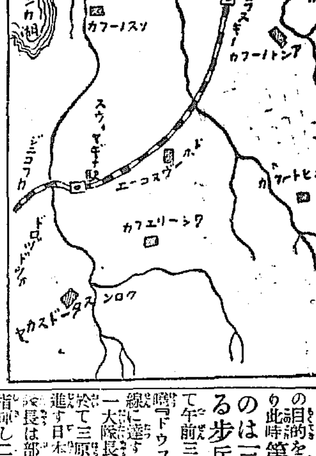
◎中村公使動靜

二日夜入京したる帝國駐剳公使中村巍氏は三日午前九時卅分總督府に長谷川總督、山縣政務總監、關屋局長、久水外事課長を訪し十時辭去久水外事課長官舍にて少憩市中を視察し十二時仁川に赴き同地視察五時仁川發列車にて歸京七時五十分發釜山に直行すべし

◎スラエフスキー附近の戰鬪 許斐大尉勇死＝裝甲列車鹵獲

從軍記者 金谷眞

▲佛國中佐『ビション』の指揮する英佛大隊『チエック』隊及び『カルムイコフ』支隊は『アントノーフカ』より『クラウエスキー』に到る間に陣地を占領し數日來大井師團の『スピヤーギナ』『スパーヌカヤ』間に於る集中を掩護しつゝありしが約五千の敵は漸次之に逼迫し來り二十日右翼に在りし『カルムイコフ』支隊は敵に包圍せられ僅に血路を開いて鐵道線路の方向に退却したるが敵は之によりて氣勢を得二十日益々我第一線に向ひ前進し『ビション』支隊は遂にルフノオーフスコエ附近に退却の止むなきに至れり此に於て大井中將は其師團の集中完結を待つことなく『ビション』支隊を急援するに決し小林大隊を第一線に出し『ビション』支隊に增加し稻垣大佐をして日本兵及び『ビション』支隊を合し第一線の指揮を執らしめたり當時第一線の陣地は有利にあらざりしも師團後攻勢の爲大井中將は之を保持するの必要を認め二大隊を『ドウオスコへ』附近に出し稻垣大佐に命ずるに飽く迄現陣地を保守すべきを以てす此の日敵は益々我陣地前に近迫し第一線の兵力稍不足なりしも更に之に增援することは豫備隊は僅に一大隊を剩すのみなるを以て大井中將は第一線の諸隊をして現在の兵力を以て極力其陣地を固守せしめ二十四日拂曉我左翼鐵道線路方面より攻勢に轉ずるに決せり而して此日敵は益々第一線に近迫し來れるを以て大井中將は在『スパスコへ』の支隊を『スヴイヤーギナ』に招き二十三日夕迄には之を『ドウフオフスコへ』附近に集結したり



▲二十四日聯合軍は敵を擊碎するの目的を以て勇敢に前進を開始せり此時第一線に在るものは三原少將の率ゆる步兵約三大隊除にして午前三時出發敵を驅逐しつゝ拂曉『ドウフオフスコへ』東方細流の線に達す日本步兵第○○聯隊第一大隊長の指揮する部隊は右翼に於て三原少將の部隊と呼應して前進す日本步兵第○○聯隊第十二中隊長は部下中隊及び工兵半小隊を指揮し二十三日夜十一時『ドウフオーフスコへ』出發『サルーノフスキー』を經て『クラエーフスキー』に到り同地附近の鐵道を破壞し敵の退路遮斷を企圖せり日本野砲兵、重砲兵及『チエック』山砲小隊は『ドウフオースコへ』の北方鐵道橋附近に陣地を占領し聯合軍の攻擊を準備す工兵第二中隊之に配屬せられたり『チエック』の一大隊は『スピーギナ』停車場を守備すチエック步兵第五聯隊（第二大隊缺）英國兵、佛國兵、日本兵の殘餘及び『カルムイコフ』支隊は豫備隊となり午前三時『ドウフオススコへ』西北端に集合し未明より全線行動を始め拂曉『ドウホーフスコへ』東北方の河岸を越ゆるや俄に激戰起る我が兵機を逸せず進擊に移り挌鬪爆戰遂に敵を擊退したり此際許斐大尉は敵前咫尺の間に於て榴彈に中り勇死を遂ぐ

▲午前八時頃第一線諸隊は『クラエーフスコへ』南方高地に達し茲に兵力を整頓す

▲是より先第○○聯隊第十二中隊長西田近雄大尉の指揮する部隊は鐵道破壞の爲泥濘腹を沒するの間を前進中敵の裝甲列車より猛射を受け忽ち四十餘名の死傷者を出せしも之に屈せず進んで『クラエーフスコへ』附近の鐵道を破壞し裝甲二列車を鹵獲したり

▲敗退せる敵は『シマコフカ』『ウスペンカ』の線に退却し聯合軍は直ちに追擊に移れり二十五日迄追擊を繼續し少數なる敵の抵抗を排除しつゝ二十六日午後『シマコフカ』北方高地を占領す敵は『ウスクー』驛に向ひ退却せり

▲我に對せし敵は約八千にして戰場に遺せし死者のみにても三百を算す日本兵の死傷は許斐大尉以下約百五十名にして其他友軍の死傷は未だ詳ならざるも損害多からず鹵獲品の重なるもの左の如し

裝甲列車二、火砲三、機關銃四、電話線十吉米其他小銃及び彈藥等なり（八月二十六日）

茶前酒後

◆烏蘇里方面よりの、私信の一節に曰く。先月二十日、敵が突如攻勢に出でたるは、日本軍は尙ほ未だ、第一線に立ち居らざるべし、日本軍の到著以前に於て、チェック軍を殲滅せざるべからずと轉信し、急速強襲の策戰を以て、突進し來れり。而して我軍の赤帽片影を見るや、こざかしき哉チェックと敵は而も振らず突入したるに。日本軍に變裝して、我等を驚愕せしめん爲の奸策か、此偽物奴、と。知らんや、其赤帽こそ、正眞正銘の日本軍なりしとは。而して一戰直ちに敗衂を擧いで、倉皇北走すと。滑稽千萬ならずや、之等を以て、戰中の喜劇とや申さん

◆烏蘇里戰線に於て、聯合軍は何れも、奮戰しつゝある筈なるも、第一線に立て、常に貴重すべき犧牲を拂つて、勇猛格鬪しつゝあるは、日本軍也。戰鬪は事實に於て、今や日本軍と、俘虜過激派軍との戰鬪の觀あり。未だ、他の派遣軍の戰鬪を聞かず。其等の死傷者をも傳へざる也。實際に於て、チェック、スロヴアック救援の米、英、佛軍の消息は、世間に杳然たり。されど吾人は、懸軍萬里、友軍救援に赴ける彼等が、陣頭に立てる事は疑はざる也。

◆然れども多くの場合、日本軍が奮戰所に立ちて、苦戰しつゝあるをも、挪ひ居れるは事實也。而して少からざる犧牲をも、挪ひ居れるは事實也。聯合各國は、如何なる感謝を、我に致さんとするか。

◆米國政府は、浦鹽出兵宣言に於ても、今日の場合兵力を分割するは、不利益なりと云へり。他各國も同感ならん、例令ひ東洋兵たりとて、特に浦鹽に派遣せずとも、事實今日の如くんば、極東の事は一切を日本に委託せば可ならん。實際に於て、其方がお互の利益也。

◆二億の富を抱いて、さすらひの身となり、定めなき、風につけ、雨につけ、心を惱かさる、錦木の妻アさんあれば、過し榮華の夢を、今日の墓なき生活に泣く、お爨あり、世の中は能く出來たもの也。廉賣米に生活を繫ぐても、一家の團欒を見る者、決して世間を恨むべからず。

人事消息

▲吉野太左衛門氏 三日夜入京朝鮮ホテルへ投宿の筈

▲米原咸北道長官 內地各方面視察後入京中のところ四日朝出發赴任す

讀京城日報日鮮同根論錄舊作却一粲 金陵 大垣丈夫

日鮮雖有別。溯古是同根。離合天之命。恩讎兩不存。陽光蘇草木。佳氣滿乾坤。把臂盟山海。千秋仰棄尊。

陰陽二神、修成韓鄉、素戔嗚尊陸於牛首、朴昔兩姓、出多婆那。上世親睦、兩國爲一體。中古瀛盟、山河阻絕、兩俱鮮卑之徒、競策其隙。開基參商隔立、將近千年、而王嚴交通不絕、明治併合、渾然歸於大同、追奉發之遺訓、貽永世之孫謀、八句四十字、提綱而撮要、不可以尋常文墨視也。立洞玄批

大正七年七月一日改正現行

西伯利從軍記

▽意外の拾物、政變!!!

雲突くばかりの巨大漢が慌ただしく宿舍に飛込んで來て『ズドラーストウイッチエ!!!』

一隊の反過激派兵が 鯨波の聲を揚げて兵舍の中に雪崩れ込んだ

西伯利聯隊とホルワット派の爭ひ

從軍記者 金谷眞

傾斜の凸凹町を一條帶の如く樹に貫いたのが浦鹽の銀座通りスウエトウランスカヤ街である、われ〳〵一同は廿五日の正午頃やつとの事で露國海兵團の建物にたどり付いた、何分占領地と異ひ露國といふ歷乎とした御主人の居る町へチエック援助に來た軍隊の事とてわれ〳〵の宿舍も亦家主と相談の上借て貰つたのであつた、門には

日本の衛兵が銃劍を持つて立つてゐる

窓の下には河のやうな金角灣の碧水に白い軍艦、鼠色の軍艦が浮かんでゐる、やつとの事で各自の室が決まりヤレ〳〵と一汗拭うてゐる處へ『ズドラーストウイッチエ!!!』雲突く許りの大ロスキー君があはただしく驅け込んだ、露助君の手振よろしく言ふところと聞けば今し下には大騷動が勃發せんとしてゐるこの御注進、早く日本の軍隊が來て援助して呉れと言ふのである、援助は兎も角、やつと今來て行李を卸すや卸さずに這麼『特種』が轉がり込まうとは思ひも染ぬ次第である、取りあへず

市街戰見物かと拳銃をもつて飛び出す

と海隊の兵舍には數人のチエック軍と西伯利亞第一聯隊の兵士が自動車で乘り込む騷ぎ、續いて銃劍をつけた兵士が十數人も來てバラ〳〵と兵營内に這入つたかと思ふと、稍暫くあつて肩章のある兵士(肩章のあるのはホルワット、セミヨノフ、カルムイコフ等反過激派の兵士である)がドヤ〳〵と建物の裡から出て入口に整列すると共に『ワア!!!ワア!!!ワア!!!』と三度ばかり叫んで行進して行つた、われ〳〵は今にも鐵火はためくかと片唾を飲んで待ち受けた甲斐も無うてあとはチエック兵や肩章の無い西伯利亞聯隊兵が出入するばかり

見物の彌次さへ欠伸して行つた何んの

こつたい莫迦々々しいと期待がはづれて引返したが、その夜はまた〳〵緊張して來た、廿五日の夜は浦鹽もまた月明の夜であつた、自分は軍司令部の山の頂邊から港内の灯火を脚下に見て華やかな電燈のスウエトランスカヤに馬車を驅つてゐると不開停車場通りの十字街で各國人種の展覽會とも云ふべき大集團に遭つた、見れば白い水兵服を著た支那の軍艦の陸戰隊も居る、カアキ色の日本軍も居る、中折れ帽見たいな軍帽の米國兵、佛蘭西兵、英國兵、チエック軍何れも

銃劍著きで街路を警戒してゐる……

それに恐い物見たさの彌次馬はワイ〳〵ワイ〳〵押しかけて居る、自分もまた『特種』かと馬車を下りて群集の浪にもまれて行くこうやう〳〵にして此の『特種』の性質が判つた、詰り今日午後以來の大騷ぎといふのは浦鹽に來たプレシコフの軍を武裝解除せしめて代つてトルストフの軍が浦鹽の警備に當らんとするのであつた、それではトルストフとは何者ぞや、といふ前に先づ浦鹽に出來た西伯利亞聯隊のことを記さねばならぬ、云ふまでも無く浦鹽は

初め過激派の天下であつた、然るに

去る六月二十九日チエックの起つに及んで二箇中隊の西伯利亞聯隊なるものが出來その隊長にはトルストフが推される事となつた、而して此の軍隊は反過激派のホルワットや浦鹽にある州自治會にも關係せず純然たる對獨墺戰線に立つ軍隊として州自治會も浦鹽市會も認める事となり各國領事團も亦承認することゝなつた、然るにトルストフの軍隊には漸次反過激派のプレシコフ一味の手が廻り最近に至つてホルワット將軍からプレシコフ軍と合併せむと申し出た、極東政府の首腦者たるホルワットは無論支那領土內なる哈爾賓よりも純露國領土內なる

浦鹽に勢力を保つた方が便利であらう

此の申し込みを表面は兎も角西伯利亞政府(浦鹽に在り)と密接な關係にあるトルストフが肯かう筈はない、トルストフが一時大いに反抗して見たが廿三、四日の間にすつかりプレシコフからしてやられて停車場前の彼の參謀本部さへもプ軍の爲めに占領され兵隊もドシ〳〵プ軍に從つて中にはセミヨノフ軍に向つたものすらあつた、然るに浦鹽の政變は猫の眼の玉より猶ほ激變して一時プレシコフの爲めに武裝を解除せられた、トルストフ軍は再び元に還つて一時

明渡した古巣を又も奪り還すこととなつた

自分の視た今日の騷ぎの顚末はざつと這麼經緯であつた、兎に角浦鹽の政變はこれを單に極東の片田舍に起つた小問題と見做すべく餘りに各國の利害關係が錯綜してゐる、廿五日の當夜停車場前には各國兵が各五十名宛出動し司令官には英國のダンロップ少佐がこれに當つた、兎に角浦鹽の問題は面倒である(八月廿六日記)

◇もう萩が咲いた……三日午前漢陽公園にて

○レーニン遂に死ぬ

加害者は社會革命黨の婦人

レーニンは遂に死去す加害者は婦人の社會革命黨員なり(二日午前十時半東京至急電報)

○王世子殿下 釜山御通過

李王世子殿下は二日午前七時釜山着相成り連絡船高麗丸に御乘船歸東の途に就かれたり(釜山特電)

○聯合軍、我軍の勇に驚く

人間業では無いと

一日浦鹽より門司に歸着したる某氏の談に烏蘇里附近における戰闘は獨墺俘虜過激派軍の勢力頗る優勢にて聯合與國軍は屢々これに攻め惱まされシマコフカの戰鬪の如き最も猛烈にて與國軍は只茫然爲す所を知らず汽車なくては進み得ずなど言ひて逡巡する間に我軍は進路の險惡何かあらんと河川沼池の分ちなく突進するに人間業ならずと賞讃し合ひたりと

○別れの盃に麥酒

を一口宛飲んで進二無二突進した 煙の間から日章旗がヒラ〳〵

一負傷兵……西田中隊の殊勳を語る

二十四日夜クラエフスキー驛附近の戰鬪に於ける負傷者八十一名、三十一日浦鹽に到着したるが當日第一の殊勳隊たる西田中隊の一兵士は語りて曰く『二十三日夜我中隊は必死を期し裝甲列車を捕獲せよとの命を受けたるが出發にあたり大隊長は別れの水盃と又た祝盃にせよとて一小隊に一本宛サクラビールを分配したり互に是を一口づゝ飲みて進二無二に進む裡驛に近づけば戰友はバタ〳〵斃れたるが軈て裝甲列車は彈藥庫に彈丸を受け火煙を揚げて轟然爆發しその刹那濛々たる火焰の間に日の丸の旗ヒラ〳〵と飜りたるより思はず萬歲を叫びたり』と(大阪特電)

○初日以來、約廿二萬枚の廉賣券が出た

改正後一層實行が殖えた

京城救濟會に於ける九月一日扱ひ廉賣石數を聞くに新廉賣所京城日報裏空地外七箇所に於て石不拔米一升二升五升を通じ百六十六石六斗人員七千三百四十三人 ▽外國米は 二升五升を通じ六十九石一斗五升二千三十七人粟は一升二升券を通じ五十石四斗八升三千二百二十五名を算し外國米及び粟の需用者も漸次增加の傾向に在り而して石拔米は八月三十一日限り其の發賣を中止し廉賣券の如きも其の一部を改正して石不拔一升二升五升、外國米二升五升、粟一升二升の七種と爲せし結果其の廉賣總石數は從來に比して遙かに增大するに至れり

▽廉賣初日 よりの石拔米賣捌高は一升券四十石九斗三升二升券六百二十石二斗六升五升券百石七斗五升合計七百六十三石六斗四升を示し此の廉賣人員三萬七千二百二十一名に達し居れり而して救濟會が其の廉賣方法其他の變更を爲さゞる八月三十一日迄の廉賣狀況累計に就いて見るに南大門小學校外八ケ所に於て石拔米七百六十三石九斗四升三萬七千二百二十一名 ▽石不拔米 二千九百六十三石二斗十五萬八千四百二十五名外國米四百五十四石一斗四升二萬五百七十一名を算し白米外國米を通算すれば八月三十一日迄に二十一萬五百七十一名を算す

○内鮮漁夫二百名入亂れて大格闘

慶南固城での出來事 負傷者十餘名を出す

慶南固城郡東海面內山里に於て九月一日朝鮮人漁夫が雇主に賃銀値上げを要求したるに對し內地人漁夫が雇主を助けんとしたるより端なく內鮮人漁夫の衝突を惹起し原因は內地漁夫が雇主に贔屓した爲め約二百名入り亂れて格鬪したる爲め負傷者十餘名を出したるが急報に接し固城憲兵分遣所より憲兵現場に急行し目下取調べ中

○德島闇となる

風水被害別報

德島來電に依れば過般襲來の暴風雨の甚大なりしは阿波國那賀川沿岸にて通信機關全部不通となりしより未だ情況不明なるも同川の堤防は全部決潰し耕地の埋沒數十町に達し家屋二百戸以上被害を蒙り死傷者行方不明者三十六名に上り內には一戸九名の者全部行方不明となれるものあり其他那賀、海部兩郡へは大海嘯の來襲ありて被害亦甚大なるべく突吹、牛田の山岳壞崩し德島市內にては電力の杜絕を來し全市暗黑となりたるが之が恢復には三四日を要すべく工事を急ぎ居れり全縣下を通じての損害は二百萬圓以上に達すべし目下調査中(東京特電)

○遣伊飛行隊

辭令交付さる

伊太利派遣飛行將校は愈々決定し卅日發令を交付されたり

工兵中尉 磯我辰二
同 渡邊虎太郎
輜重兵中尉 岩富英
騎兵中尉 喜早收治
騎兵中尉 森隆吉
砲兵中尉 福士綱
同 山本直猪
同 松原市己
同 須永鶴松
同 兒玉德光
步兵中尉 德富淸一
同 加藤敏雄
同 小澤直治

右の外所澤航空大隊より職工十七名砲兵工廠發動機製作職工及び木工を合し總勢四十名内外となる由

○不逞鮮人は島流し

過激派軍に投ぜんとした軍夫

曩にセミヨノフ軍の軍夫として從軍しながら部下の人夫等を敎唆し時に軍機を過激派軍に洩らし遂には敵國側に投ぜんとしたる陰謀ありし部に押送されたる不逞の朝鮮人九名は其後引續き取調べ中なりしが彼等の行動は犯罪を構成するには至らざるも其の儘放還するに於ては治安を妨害するものと認定され保安法第五條に依り本年八月三十日より向ふ一箇年間何れも流島の處分に附する事となり九名は夫れ〳〵所定の島嶼に護送されしが其の地名及び人名左の如し

慶南欲知島 康錫浩(三一)京畿麻毛島 李安德(三〇)全南智島 下元員(四七)全南箕佐島 黃雲三(二九)平北身彌島 金鶴萬(三二)京畿靈興島 金昌石(三〇)忠南安眠島 閔允植(三〇)黃海白鶴島 李範學(三七)全南都草島 文龍雲(二九)

○女學生の廢物利用

千點以上集る 非常な好成績

實用に向く品物が多い

京城高等女學校では夏期休暇中の研究課題として全校生徒に廢物利用品の製作を命じた、そしてその結果は寧ろ豫想外の成績を收めた――それについて滿足の微笑を面に浮かべた成田校長は語る『全生徒六百名の作品が千點餘になる樣です。一切の指導をせずに

◇思ふが儘 に頭を働かせて見たのですが、實は好い成績を見せて呉れたものです。到底これ丈の事が敎へられるものではありません』と校長の引出す机の中には實に感歎に價する作品がギッシリつまつてゐた。帶の柄の廢物でした火吹竹、破れた團扇の骨を編んで塵除け

◇襤褸で編 んだ草履、古リボンを利用した誕掛等は實用品として立派なもので、尚、大きいものには小布を繼いで作り上げた大蒲團、それから手際の鮮かなものには古い麥稈帽の眞田を意匠した寫眞掛等があつた。何しろ非常な立派な成績なので近く同校內にその

◇展覽會を 開いて一般の參考にも供したいとの事であつた。時節柄却々興味の有る事である。尚同校では、外米及び雜穀の喰方についても家政科の方でその研究をやる事になつてゐると

緩衝機

(投書歡迎)

貴婦人方へ

無名氏

◆今回の米騷動は石川縣の女房連の火蓋を切りたるに始りて其勢燎原の火の如く軍隊の力を以て之を鎭壓するに至りし位にて九州の一隅に燃えつゝあります檢擧せられたるもの五千餘人に及ぶと聞く ◆誠に大正の一大不祥事之が根治策は政府は元より學者政治家の間に論議せられつゝあれば具體的の救濟策も早晩發表せらるゝことゝ思はるゝも應急の方法としては廉賣施米を除き他に執るべき方策はあるまいと思はれます ◆故に廉賣施米の方法は及ぶ限り最善の途を講じて窮民に滿足を與へ日本政策の樹立を期し永久に之を持續する必要があると思ひます ◆然るに京城に於ける救濟資金として京城日報の所載を見るにさきは僅かに八萬五千圓餘にて此八萬五千圓より經費其他手數料等を一割と見るときは殘る所は七萬六千五百圓之を折半として計算するときは施米一千三百石餘(一升三十錢)廉米三千二百九十石となるべく一箇月の一人の所要一斗として四萬九千五百人の窮民を一箇月間救濟するにすぎざる計算となります ◆京城人口三十萬一割の救濟を要するものありとせば九月中には早くも救濟資金は空虛となりますす誠に心細き次第ではありませぬか ◆其處で私は平生社會の上流に在りと自任せらるゝ貴婦人何か事あれば慈善會とか催されて孤兒や貧者を救濟せられ知らぬ他國の白耳義の困窮さへ同情せられたる御方に勸告御願致します ◆同一の山川に住居し飢餓に泣く同胞を救濟すべく義捐金の募集に盡力せられんことを御願致します御婦人方の力により一日にても永く此救濟會の存續することを願ひたい ◆飢餓の聲を聞きつゝ演藝會や音樂會も時宜にあらざるべきにより此際特に御婦人方相引きて窮民の戸別訪問は尤も時宜に適したる有效の方法であらうと考へます ◆又今一歩を進めて御婦人方自ら救濟會に御出掛になり救濟事業の一部を擔當せられ親しく窮民の狀態を研究せらるゝのは貧富不平均の調和に對し如何に有效なるべきか博士の演說よりも坊主の說敎よりも宣敎師の演說よりも更に有効なる修養が出來るであらうと失禮ながら考へます ◆尚ほ戸別訪問につき一言して置きます御婦人方の運動は御婦人相互間の訪問運動にては効力が少からうと思ひます目指す敵は男兒として官衙銀行會社等男兒の集合所に向つて突貫するのは最も有効であらうと考へます

大温習會

忠給仕生

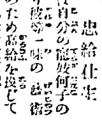
◆某紳士は自分の寵妓何子の請ひに依り彼等一味の藝術獎勵とかのため高給を投じて東都一流の名人師匠數名をワザ〳〵呼寄せるべく此が招聘の爲め出入の待合藝術家を上京せしめしが ◆愈々兩三日前著京せしに依り早速入費にお構ひなしで某料亭の廣間を借切り京城藝妓共の稽古に取掛り秋冷の好時期を選び花々しく大温習會を催す計畫の由 ◆今日晉々游給者又は一般の細民は米其他日用品の暴騰生活難の爲め日々飢を叫びつゝあるため慈善家及び有志の人々は其救濟のため夜の眼も眠らず此の時に如何に彼等があぶく錢の使途に困るとは謂へ餘り世間を馬鹿にした仕業なりと人に憤慨し居るものあり此際少しは慎しむ可きものである

○一高野球選手

第一高等學校野球選手十三名は一日午後七時釜山通過內地へ向ひたり(釜山)

○政務總監夫人

山縣政務總監夫人は三日南大門驛發列車にて山口縣萩に赴き數日滯在の上歸東すべし



▲雷と華城 壽館は四日より東洋軒雷右衞門一行の浪花節にて開演すべし。雷右衞門は當地には數回來演せる事あるが一行中には慶應大學を卒業して直ちに浪界に入り所謂學者語る三升家華城といふがあり新物を上りて何處かに確かりしてゐるところがあるといふその主なる語り物は左の如し △伊賀の水月(雷坊)△慶安太平記(小雷雲)△浮名の梅樹(秀夫)△名作左小刀(雪丸)△東國の花(華城)△元祿武士水戸黃門記(雷右衞門)

▲大正館 例の連續活劇怪賊秘密の王國の外に活動館には珍らしき英人夫婦の空氣銃の曲射、佐藤、隨川のトータンス節が呼び物となりて連日大入りを博し居れるがその曲射は眞に驚くべき程巧妙にて如何なる射法を用ひても百發百中の確かさには觀客の膽を寒からしめ居れり ▲黃金館 百萬弗の秘密、忍術十勇士等なり ▲浪花館 東京落語家圓坊、長唄杵屋勘左衞門一行にて開演中

演藝案內

◎黃金館 天然色活動寫眞會社京城第一手代理店 電話(晝間)二二六六(夜間)二六三七
當る八月二十九日より未曾有の大興行 日本で初めて新派連鎖の海島冒險立志獎勵
◎大悲壯劇 潮の如く 第一回前篇二篇上場以下引續上場 [illegible]
◎大活劇 百萬弗の秘密 第十七篇 ▲愈々假面[illegible]
◎大活劇 忍術十勇士 三百九十米 ▲[illegible] ▲其他滑稽

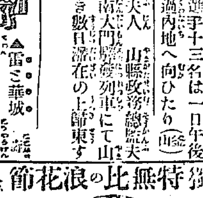
壽館 本町二丁目 電話一〇五〇
當る九月四日より開演(毎日午後六時開演) 浪界の大名人東洋軒雷右衞門一行
◎伊賀の水月 東洋軒雷坊
◎慶安太平記 東洋軒小雷雲
◎浮名の梅樹 東洋軒秀夫
◎名作左小刀 桃中軒雪丸
◎軍國の花 三升家華城
◎元祿武士 水戸黃門記 一席 東洋軒雷右衞門

有樂館 東京小林商會活動寫眞一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館
當る八月卅日より公開のプログラム 坊ちやん 僕のお樂しみお伽小犬の行衞 活劇 第四の證人 全二卷
◎森林情話『夜明け前』全五卷 マーセロー嬢出演ブルバード映畫
◎人情劇『訓の庭』全五卷 [illegible]

獨特無比の浪花節 浪界の名人東洋軒雷右衞門來る 愈々當る四日より 壽館に於て開演

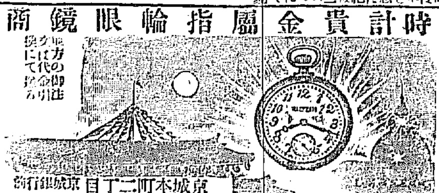
浪花館 明治町二丁目 長電二六〇番 東京大阪合同落語大一座 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る卅日より大入 ◎滑稽活劇『瘋癲病院』全二卷 △尾上松之助一座大車輪 ◎舊劇『幽靈半之丞』全四卷 △米國ヴァイタグラフ社特作品 連續大活劇第四 秘密の王國 ◎事實悲劇『後の仇浪』全四卷 ◎大餘興 英國人『デヴィーラス』氏出演 [illegible]



夫 芝崎英次儀葬儀の際は態々御會葬被成下難有奉深謝候乍略儀以紙上御厚禮申上候
大正七年九月三日
妻 芝崎キサ
親族一同

荊妻いと病氣中ノ處本日午前四時四十分死亡致し候に付當地に於て火葬に附し候間此段知己の方々に謹告仕候
大正七年九月三日
太田本町二丁目
田代英作
男 田代修一

時計 貴金屬 指輪 眼鏡商

地方の御注文は代金引換にて御送付可申候
京城本町二丁目 京城銀行前 三浦天龍堂 電話一〇二〇番 振替京城三〇四番

一番よくきく マラリア特効丸 龍山林藥房製劑の
藥價表 二十四粒入金一圓 [illegible]
ニセモノあり御注意
龍山元町二丁目 本舖 林藥房
代理店 京城本町 岸天佑堂 釜山辨天町 南海堂 平壤大和町 黒田草藥堂支店

地方で拾圓の品を產地にて五圓で賣
物價調節實現 [illegible]
注文男女の別年齡を書きハガキで申込めば引替にて親切に送ります
本場 大島銘仙 綿銘仙 縮緬兵兒 大島紬 兵兒 桐生織物 [illegible]

◎連絡船上陸客 一日 [illegible]

仁川期米 [illegible]

龍光館 一葉商會活動寫眞 特別興業 入場料一等三十錢 [illegible] 所本券持參者に限り [illegible]

◎大連に無線電信

日支間に於ける電信事務の一進展

滿洲發展に伴ひ通信事務の激增は實に驚しいもので本年初夏頃より電信の如きは屢々に延滯を重ね而も一部電線破損の爲內地電信通信の如きは早きも十時間遲きは二十時間位を要した事珍らしくない急速を要する至急電報の如きも七八時間を要し非常なる不利不便を感じた此等事情に鑑み當局に於ても至急增設を圖り焦眉の急を救ふべく苦心し先日に至りて初めて一線の增設を完備したこの事であるが未だ以て充分と云ふ事は出來ず目下專ら

無線電信の增設

を唱へられつゝある大連無線電信は明治四十四年の頃から砂陀子に設置され當時七基の電力を有するものは斯界に偉大なる權威を示したものであるが大連市の發展と沿海各地の電信事務が激增したに依り各地方共二十乃至三十基の大規模設置を見るに至り

大連の無線電信

の改造建設は自然の要求に從儀なくされたる結果である、從來の七基位の電機は常に高変の他電に壓迫され機能を失ふ事屢々あるに依りそんな不完全な機能を以てしては到底滿足出來ず茲に當局も改設の急を主張し初めたのである、今回改設せんとする電機は發信を送りながら受信を受くる事の出來る二重裝置の機械であつて目下

宮城縣下に設置

せんとして問題となつて居る新進電機である或一說に依れば更に進んで世界の何國に於て試みられた事のない最大高度の設備を計畫しては如何と云ふ說もある相だが是に依れば普通一分間約七八千字を打電し得るものを其二倍以上の能力を有し通常人の耳感にては受け取り難い高速度なるを以て一度蓄音器の盤の如きものに移し更に之を整理する方法であると云ふ若し此の計畫が完成の曉は

日支間通信事務

の便益や實に莫大である事と信ずる、近來無線電信の發達は各國共非常に速かであつて遠く電線を海底に布き故障頻々たる者に比すれば線なく柱なく工事費の點に於て甚だ經濟である無線機を使用する傾向である只恐るゝ處は電力を空中に放つ作用なれば敵の爲時々效用を喪失する場合がある此を防止する所を知らない現代科學の進歩は或は近き將來此をも征服すべき一大發見の現はれる事なしとも保し難い

電機改造一著手

として二所通信となし發信所を柳島に置き受信所を泉が浦に設くべし然れども只大連のみに此設備をなすも內地に於てもこれと同樣の設備なくては何等用をなさない譯であれば目下十一務省へ交涉中の處多分九州佐世保附近に確定される事になるべく其工事の完成は大正九年末を以て終了すべき筈なれば使用開始一般便益に接するのは大正十年の初春であらうとの話である(奉天)

◎密接し來れる 鮮滿經濟關係

相互貿易の研究

◇朝鮮と滿洲 何となく遠隔らしく聞ゆるが實際は鴨綠江を一つ相隔て、居るのみである併し從來は至つて商取引關係が薄かつたそれが爲め自然遠隔の思ひあらしめたのである然るに近來に至つては漸次朝鮮勢力の侵入を見る『第一が朝鮮米』これが無くては在滿邦人は

◇米を食ふ事 が出來ない有樣である『第二海產物』海參、貝柱、鰆、鯣、干蝦等高價な海產物は內地或は上海を經由し南滿地方或は北滿或は滿洲支那上流に珍重されたものであるにそれが此頃は邦々直接輸入される事になつた爲め滿洲人は至極廉價にして且つ良好品を得る事が出來る樣になつた

◇第三は鮮魚 滿洲に於ける冬季間の鮮魚は殆んど朝鮮物に依らねばならぬ樣な觀を呈して居る『第四果物』これはまだあまりの入荷を見ない本年の如きは滿洲の諸果物が廉價であるから突飛な大進出は出來まいけれども日本人向きとし或は支那果物の輸送停止後(結氷期)に於て邦々入荷する事は有利の一事業だらう

◇西鮮產の栗 なども昨年の如きは暴利を占めた者がある其他朝鮮人の手に依つて輸入さるゝ朝鮮紙等も其數少くないと思ふ滿洲から來る者としては滿洲栗、甘草、牛骨(此は朝鮮に於て精製し更に內地行き)鹿角、其他藥草等相當出て居る樣に見ゆる又

◇農業地 としても滿洲はまだ中々廣い水田經營には是非共朝鮮人を要する此等の點を綜合し鮮滿を最も密接に結合する事は相互貿易上最も焦眉の急務であらうと信ずる何事を爲すにも土地の事情に精通すること云ふ事は尤も肝要である大いに進出を望む次第である(奉天)

◎旅順の鐵工會社

世界的鐵類の昂騰は其餘波滿洲に迄及び各所に小規模なる工場の建設を見たるが久しく世人の注目を惹きつつあり旅順加町なる民政署所有の鐵工所拂下けの件は數日前初めて認可となりたるを以て大連側發起人川上、富田、村上其他發起人集合協議したる結果資本金五十萬圓の會社となし一萬株の內其一部丈け大連旅順に於て公募する事に決したり之因に同地に於ては沈沒せる艦船より引揚け鐵多量にあれば同工場の會社組織は甚だ嘱望されつゝあるが如し(奉天)

◎鴨江材

製材に追はれ勝

電柱に誂へ向の鴨江材

吉林材も黑龍材も歡迎せらるゝ 缺點もあれど需要多し

近時木材界は非常の活況を呈し市價益々騰貴の傾向を示し本春に比し現相場は製材約五割高を示し活氣配は尚強硬を保ち向後更に昂騰すべき狀態なるが今回の騰貴は鐵材騰貴に初め各製材工場は殆ど軍需品としての用命を蒙れる爲製材に大拂底を告げたる結果にて民間製材業者の如きも近く新契約を結ぶに至らば

一層の昂騰を見る

べく何れも先高を見越市場漸く緊張し來れりと又鴨綠江沿岸にある松材は數年前より電柱として日本內地に多數輸移入しつゝあるが木目極めて細く長さは大抵七八十尺あり然も根と末とが僅に二寸位の相違に過ぎざるを以て電柱としては最も適材にして內地には

電柱材極めて少く

價格高價なる爲鴨綠江材の使用多きが尤も同材の缺點としては赤白色の揃はざるにあるも內地木材の缺乏甚だしきに於ては此の松材は或は

自然建築材として

使用せらるゝに至る可く近來注目を惹ける吉林黑龍江材と共に我材木商の等しく著目すべきものなりんと(新義州)

◎東拓會社の滿洲投資に對して

事業を持込者多し

幾ら持込んでも一定の方針があるから容易くは應じられないが國家的色彩を帶た有利の事業なら應ずる

滿洲進出以來益々發展して活躍を試みつゝある東拓會社の方針は拓殖的一般貸付と只事業助長の放資のみでは將來發達の見込が乏しいから營利事業以外に幾分公益的意味を有する諸會社銀行の大株主に依り直接其事業に關係を結び現に奉天に於ける東省實業哈爾賓に於ける北滿電氣關東州に於ける遼東銀行の株主となつたが近來同社に對し

諸種の事業計畫

を持込むもの頓に增加し殆ど迎接に遑なき狀態であるとの事であるが然も是等計畫の中には實際資本の缺乏から相談に來る者もあるが左はなくして其他の資本家に俟てば容易に創立され得べき事業をすら持込む者もある此等に對しては強ち東拓の關係を必要とは感じないから此の種の事業は可及的地方資本家の放資經營に任せ其他の事業にして差詰收益を得る能きも

將來有望の見込

みあるものを選定し東拓が其中心勢力となり經營の衝に當る得るものゝみに放資する事に決定したとの事である從つて今後に於ける東拓の事業投資方針は從來に比し其の範圍を局限せらるゝ譯であるが右の如き方針であるから過般來交涉中なる大連倉庫會社に對しても成立後に於ける資金の融通は別として此際持株は之を拒絶する事に決定し此旨を同社發起人に通じた由である此等の點から推せば同社の方針は一見消極的の如く見ゆるも決して然らず寧ろ此方針の徹底に向つては今後

一層積極的態度

に出づべく苟くも國家的色彩を帶び將來有望なりと目すべき諸事業に對しては何種たるを問はず大いに歡迎すべしと(奉天)

◎豆滿江材

淸津より內地への木材移出は從來甚だ僅少なりしが近來內地建築界の勃興に伴ない需要增加を來せる折柄淸會鐵道の開通は奧地豆滿江材の搬出容易となり又豆滿江下流に於る琿春材の搬出は朝鮮型帆船の增加と共に運賃低落せる等の原因にて輸出旺盛となり七月中の如き三萬二千三十立方尺價格一萬七千三圓に達せるの盛況なりしが今後益々增加すべき傾向なり(淸津)

◎北鮮では此の夏を 暑さ不知に暮した

淸津地方は本年は一體に降雨多かりし爲め夏季に於ても氣溫低く九十度に達せし事は一日もなく先づ八十五六度が最高溫度にて殆んど暑さと云ふ暑さを知らずして經過せるが今後とても斯くの如き暑さは殆んどなかるべく斯くて暑さ知らずにて經過せん模樣なるが本年八月の氣溫は昨年の同月に比較せんか平均四五度方の低溫也(淸津)

◎支那の借款と引受銀行

朝鮮銀行外十五行にて聯盟的引受をなすの議

支那に於る現在の對外借款は已に交付した額が七千三百萬圓未交付の額が二千三百萬圓其外列國共同投資が一千三百萬圓である之を名目に分けて列擧すれば左の通りである

日本單獨投資

綿糸借款	三百萬	水災借款 五百萬
印刷局	二百萬	第一交通 五百萬
第二交通	二千萬	第二善後 一千萬
第一軍器	一千萬	第一奉天 一百萬
第二奉天	二百萬	第三奉天 三百萬
湖北	一百萬	廣東水災賑 三百萬
電信	六百萬	湖南水口 二百萬

同未交付の分

無線電信	五百萬	電信 千四百萬
陝西	四百萬	

列國共同投資

防疫借款	一百元	運河借款 千二百萬

(運河は日本五百萬米國七百萬元)

以後成立借款

吉會鐵道	二千萬	滿蒙鐵道 二千萬
森林借款		

以上は既に確定し何れも調印を了したるは周知の事實にして此外目下交涉中のもの及び交涉說あるものを擧ぐれば左の如くである

◆煙酒借款(金額二千萬元) 右は西原龜三氏と支那代表者周宗彥氏との間に協議中なりしが英米佛三國公使の反對にて目下交涉中止され居るも近く又々承認とならんか

◆無線電信(六百萬元) 無線電信增加により熱河、長春、重慶、四川、西藏五箇所に設置する工事費として

◆廣東鑛山(五百萬元) 朝鮮光が其出資として廣東炭鑛山を抵當として三井洋行より借款せんとするもの

◆京奉鐵道(二千萬元) 京奉線の利益を抵當として借款せんとす支那新聞に依れば既に調印が了せりと稱せるもの

◆造幣借款(三千萬元) 同借款は初め支那政府と三井洋行との間に交涉ありしが支那幣制及び幣業の改良擴張の資金として最近新たに日米兩國と支那との間に進行しつゝあるもの(或は一億萬圓とも傳ふ)

◆龍關鐵道借款(二千萬元) 直隸省龍關州の鐵鑛を抵當せんとするものにして上海新聞は既に調印せりと云ふ

◆鳳凰山鐵鑛(二千萬元) 大倉公司と目下交涉中

其他民間小借款

は數ふるに遑あらず而して放資に關しては東西シンヂケート銀行團で引受け來つたのであるが今後益々旺盛ならんとする傾向あるを以て何等か具體的團體を結成する議が唱道さるゝに至り

過般來東京大阪

の大資本家間に協議中であるが未だ公然たる發表する迄の運びに至らないが大阪に聞する所によれば漸く創立が完成し右團體加入銀行は左の十六行である(奉天)

正金、興業、朝鮮、臺灣、三井、三菱、第一、三十三、第百十五、安田、三十四、住友、浪速、山口、鴻池、近江

◎牛に籍を設く

◆新しき慶北道の試み◆

畜牛の基礎統計を確實ならしむるは畜產施設上緊要の事に屬すと雖も畜牛の異動頻繁にして之が正確を期するは頗る難事たるは道內八十餘個所の家畜市場が月六回の開市に際し常に盛況を極めつゝあるに徵しても瞭かなり、故に慶尚北道にては曩に於て實査せしめたるも其數の確實なるを得ず依つて組合自ら其の衝に當り牛籍簿を制定し面及び組合に各一冊を備へ付け組合員を本位とする番號を附し轉々異動するも加除欄を設け五六年を經過するも一臺帳により整理を遂け得らるべき書式と爲し假に現畜を放賣するも番號を保存し置き番號により畜牛と對照するの方法を講ぜり、而して之が調査は牛二同居期間を利用して畜牛の健康診斷を兼一所に集合せしめ尚各戶に就き實査を遂げ且つ其の體格の優劣に據り甲乙丙の三に區別し甲は優良牛にして無屆け賣却を制限し以て各組合內に保留することゝし專ら之が繁殖を圖らむとするものにして乙は中等程度のもの丙は劣等牛にするもの、尚備考欄には所有及び管理者の區分を明記し劣等牛淘汰して成る可く優良牛と交換を勸誘の資に供し且つ此の機會に於て畜產指導及び畜產講話を行ひ專ら畜主との親和を圖れり而して本牛籍の整理は全く現在牛の實査にして一兩四十日乃至五十日を要せり斯の如く現在調査に多大の日數を要すと雖も之れに據り得たる效果を擧ぐれば槪ね左の如くなりとこ

(一)畜牛統計基礎を確實ならしめ施設上遺憾なきを得たること

(二)現在畜牛の體格及び所有牛及管理牛の狀況を知得し劣等牛の淘汰資料を得たること

(三)無償治療に依り組合の恩惠を感ぜしめ且つ組合員をして獸畜衛生の思想を喚起し得たること

(四)牛籍整理により畜牛の特徵を記錄しあるを以て盜難の發見に資し依て之を豫防し得たること

(五)畜產思想を鼓吹し且つ畜主と親和を得たること

(六)組合發展の確實なる基礎を得たること(大邱)

◎米騷と洋鐵

內地は一時低落したれど商人は反動高の見込立つ

過般來內地に於る米價暴騰より延いて各地に蜂起せし米騷動は洋鐵界に一の奇現象を釀せり卽は騷擾の結果一般に於て建築の手控へを爲せし傾向あるを以て建築用洋鐵類は低落を告げ來りし傾向ありしも平壤市場の如きは本春以來稀に見る弱含みを呈し未だ相場の上に內地の影響を蒙らざるが商人側に在りては之を一時的の現象と見做し却つて其反動の來るべき時季あるを豫想して一般に先高を見越し居れりといふ(平壤)

◎米の大當外れ

◆市場に於て買手なし◆

去月二十四日淸州市場に於て米價昂騰の兆あるを見越し烏致院方面より數十名の商人集ひ來り石三十三圓にて買取り市場は恰も戰場の感ありしが其後の開市は前例に鑑み諸方より人肩馬脊により廻集する米は山の如くなるに反し買手は殆ど無く烏致院商人の如きは蔭をも見ず相場は瓦落し二十五六圓臺にて小部分の取引をなしつゝありて午後に至るも三百餘石の廻米は手持無沙汰にして寂寞の感あり一般に暗買手控への狀態なり之れ全く本社の號外によりて報ずる正米收用法施行周知の結果ならんと(淸州)

◎兼二浦に銀行

◆十八銀行の支店設置◆

昨年來三菱製鐵所工事進捗に伴ひて急激なる發展をなし今や人口三萬の都市となりたる兼二浦は金融機關なく頗る遺憾とするところなりしが今回十八銀行にては支店を兼二浦に新設することゝなり既に敷地として三菱製鐵所用地にして新郵便局と隣接せる土地借入の交渉を遂げたりと云へば本年末迄には同銀行の支店開業の運びに至るべしと(兼二浦)

◎金鑛の怪聞

◆大袈裟なる取沙汰◆

頃日北鎭東洋合同鑛業會社作業中止の風評あり同時に二三內地新聞にも同樣の記事ありたるが右は金地金の相場に變動を與へ其間に利得を擢にせんとする狡徒の爲にする所ありて傳播せし風說らしく仍つて一般に影響すべしと或筋の人は語れり(平壤)

◎開城後援會

開城の軍人後援會支部は山崎郡守の發起の下に內鮮人有志會合して會員の募集を爲すことに申合せ差向き通常會員內地人四十名朝鮮人六十名都合百名の會員を募集することに決し百餘名の會員を集め得べしと(開城)

◎展覽會成功

大邱に於ける教育展覽會は最も成功し日々觀覽者一萬以上に達し其盛況に何人も驚く有樣なり殊に多數觀覽者を吸收しつゝあるは社會並に特殊教育と參考品の陳列したる第四場にして二十九日入場者の細別を示せば左の如し(大邱)

第一會場(第三尋常小學校)二千三百十四人、第二會場(工業學校)二千二十二人、第三會場(公學校)二千四百三十八人、第四會場(第四尋常小學校)五千六百十八人

◎揚根學校組合

揚根學校組合に於て會議員選擧あり當選者左の如し

森川喜敬、李娥逸、蔡康植、高川友七、野澤覺一、河村宗七(以上六氏)

◎高粱が繁つて

馬賊の季節となる

根本的の大討伐

高粱繁茂滿洲馬賊跳梁の時期たる昨今なれば此種的討伐に困難なる吉林省內に跋扈し此國事多端の場合に臨み益々其威を逞しうし以て良民を害せんと圖りつゝあれば孟督軍郭省長等これが討伐に關し命令を怠りなく張統轄は鮑貴卿と討伐に援護し極力討伐を決行する事に決し大總等の方法に就き細密に亘りて協議する所ありたりと

◎パンエア貝は不吉な貝だと

鮮人間に流言あれど さりとて之れに信ずる者なし

近時平壤附近なる黃林面沿岸に於てパンエア貝と稱する比較的味は美なる貝の採るゝこと夥しきことは嘗て報ぜるが同地附近鮮民は勿論遠く三和新寧の各地よりこれを採取に來るものさへありとの事は既報せる處なるが其後殊に夥しく遠來の者は採取したる貝は牛馬等にて運搬し居れる位なるが右につき里民間に往々云ふことなく迷信的の風說を傳へるものあり其云ふ所を聞くに今より十七年前此の貝の發生多かりし事あり恰も本年の如く多かりしが當時穀類非常に凶作にて里民は饑饉に迫りたる事ありたるを以て今年も或は凶歉を見るに非ずやと云ひ居れるも事實然らずして今日の所一般に作物良好なれば此說に耳を傾くるものなしと(平壤)

農信

★麥(慶尚北道)

本年度に於ける慶尚北道種苗場の麥收量狀況に依れば慶北の麥收も凡その見込なるが昨年に比し約二割の增收ある見込なるが種苗場に於ける成績左の如し

(一)氣候概況 麥の栽培期間を通じ前年に比し氣溫概して低く殊に十二月下旬より二月中旬に至る期間に於ける降水量は極めて僅少なりしも三月中旬以後は降雨の分配良好にて且適當なる溫度を保てり

(二)病蟲害其他の災害 前項の如く冬期は低溫を示し降水量少かりしを以て寒傷並に枯死せるもの尠からざりき

(三)生育の概況 播種後發芽良好なりしも前項に記述せる如く寒害並に降雨少く地水の缺乏に依り生育極めて不良なりしも三月中旬以降に於ける天候適順に快復せしを以て生育頗に挽回し遺憾なく發熟を見るに至れり

(四)成熟の概況 成熟期に於ける天候適順なりしを以て成熟狀態は近年稀に見る良好を示せるも成熟期は例年に比し稍遲延せるの嫌ひありき

(五)反當收量 大麥は反當平均四石三斗三升三合にして前年に比し七割四分八厘、前三年平均に比し三割三分四厘の增收、同裸麥は反當二石九斗九升八合、前年より七割九分、前三年平均より四割七厘の增收、同小麥は反當二石八斗六升八合、前年より二割二分八厘、前三年平均より四割一分の增收也

因に地方により固より生育狀況區々なるを以て種苗場の成績を以て一般の收穫を推定し難きも略ぼ同一の氣象狀態の下に支配されたれば槪して同場の成績と大差なかるべく前年に比し二割以上の增收なるべしと(大邱)

★米大豆其他(北咸)

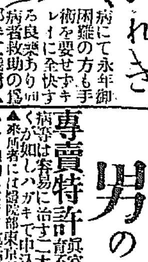
咸鏡道農作物の作況を聞くに

◆米 は昨年の約一割方增收豫想にて昨年は三萬三千石なりしが本年は降雨順當にて用水に不足なかりしと作付反別の增加せし結果に依り三萬五千石の增收は確實なり

◆麥 は既に收穫を了れるが先づ平年作にあるべく粟は霖雨の爲め甚だ悲觀されしも其後天候順當なりしを以て幾分減收は免れざるべきも悲觀するに足らず

▲豆 自昭元、大豆其他の豆類も霖雨の爲め一時悲觀されしもこれ又た開花後に於ける天候順なりしかば平年作には及ぶべき豫想なり

▲外 馬鈴薯は多雨の爲め降濕地のものは殆ど腐敗せるを以て一二割方の減收なるべし要するに本年の霖雨は一時憂慮されたる如く被害なかりしは幸ひなりと(淸津)



●ろいれさ

病にて永年御困難の方も手術を要せずキレイに全快する良藥あり病者救助の爲め郵券二錢封入者に療法書呈す。東京芝高輪北町二十一 救生堂

●產婆看護婦生徒募集 規則書要郵券

福岡市外水茶屋町 福岡產婆看護婦養成所

時計 眼鏡 貴金屬 製作販賣 仁川本町

釜山著名商店案內

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋 釜山 西山商店 電話二〇七・四〇

酒精 瓶詰 燒酎 西貢米 碎米 砂糖 麥粉 食料雜貨 釜山埋立新町 福榮商會 電話長一〇八番

參精葡萄酒

洋酒 罐詰 糖粉 釜山 あづま商店 やまや 電話三五九番 振替京城三九番

雜貨問屋 釜山大倉町

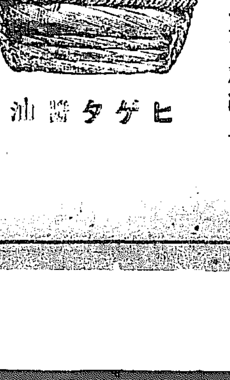
內地材各種 鴨綠江原木卸商 平野材木店 釜山榮町出張所

スマート

男の生殖器病

專賣特許眞空療法器を自宅で簡單秘密に使用せば生殖器發育不完全、包莖、陰萎、早漏、遺精、腦神經衰弱等は容易に治す二大學博士も其有效を證明し實驗者の賞讃あり
▲くわしきは說明書無代封送す
▲來所者には醫院部にて懇切說明す
東京神田 電話神田七二三番 眞空療法研究所

宮內省御用達



ヒゲタ醬油

千葉縣銚子港 銚子醬油合資會社釀造

代理店 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話長八四九番・一四五四番 振替貯金口座京城七五番

京城府明治町二丁目(本町江戶川橫丁入る)電話三七八番

內科 小兒科 ヂアテルミー科 入院隨意 中島醫院 院主 中島貞信

目ニ見エテ ズンズント キク シマズ イタマヌ 井上博士ノ ロート目藥

ソレコノ通リ

比較は品質の優劣良否を判斷する一番の早道であります、故にロート目藥と他の目藥とを比べ下さい

病眼を不潔の手布等にて拭ふは目の爲に惡し故にロート目藥には(下圖の如き)消毒したる布を添ふ

(全國各藥店に取次す) ロート目藥 本舖 東京市日本橋 大阪市北區 發賣元 山田安民藥房 山田安民藥房

八角鋼、黑鉛用金網、眞鍮物製作

土工用具並ニ建築金物

△地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候
商報御入用の節は御一報被下候はゞ直に御送附可申上候

京城本町一丁目 直輸入商 佐野彥藏商店 電話一六三番 振替京城一二〇番

商況

東京期米特電
二日後場 二十六圓二十八錢

兵庫期米特電
三日前場 二十六圓四十九錢

二日後場 二十六圓三十五錢

三日前場 二十六圓七十五錢

大阪株式特電
二日後場

	拂込額	
宇治川水	五〇.〇〇	[illegible]
京阪電鐵	五〇.〇〇	[illegible]
東洋紡績	五〇.〇〇	三一〇
合同紡績	五〇.〇〇	[illegible]
攝津紡績	五〇.〇〇	[illegible]
岡上新株	五〇.〇〇	[illegible]
東洋汽船	五〇.〇〇	[illegible]
大阪商船	五〇.〇〇	[illegible]
日本郵船	五〇.〇〇	[illegible]
同上新株	五〇.〇〇	[illegible]
堂島米穀	五〇.〇〇	[illegible]
東京株式	五〇.〇〇	[illegible]
大阪株式	五〇.〇〇	[illegible]

大阪三品特電
三日前場 九月限 四一五.九〇 十月限 …… 十一月限 …… 十二月限 …… 一月限 …… 二月限 四一四.一〇

大阪期米特電
二日後場 一節 二十七圓〇九錢 六節 二十九錢 三日前場 一節 二十七圓二十四錢 三節 三十四錢 六節 三十九錢

下關期米特電
三日前場 晴、雨警報頻り、理想的實おるも商況貧實に反撥し眼先弱し

寄付 常限 中限 先限 …… 高値 …… 安値 …… 止め ……

係は東京期米 中旬後に地場正の米需給關係で圓滑を望む

にて日下沿線地方とは相場の出合の如何に拘はらず輸送止まり居れば沿線地方よりの廻米は昂騰く新米出廻り期迄前相當の期間もあり此の中旬後に於ける需要ある當業者は内心大に此邊を憂慮せる中に、如し左れば眼先の成行きは相場の上ちね迄も下落の見込みは恐束なかるべく明四日よりは愈々米收用の實行せらる、事なれば之等の影響が如何に波動し來るか兎に角此處當分は六ヶ敷き處なり

皮革類強調

皮底は米國に於ける一部輸出禁止の影響として内地製皮の重目物は之に代りて夫れ丈け需要增加したる爲にて各製皮會社に於ては重目物は特種の材料に充當せる爲め市中出廻り品の外稀薄なり延いて輕目物にに影響する處少なからず相場は共後上二百九十四見當を持合 眼先四五圓方は引締る向なり キッド皮は宇旬沸騰したる爲め荷物の圓弱さに反して上物は減 滿洲羊皮は鉄道逸出に於ける相場は下直に入る…なる爲め…

ボックス皮

は内地在品頗る豊富にて底意軟弱なるが各當業者の努力増大せる今日にて値迄抱搬主義で採り除ろに敵備しつゝあるか爲め相場下落ぶりの風情なり

羅紗と毛斯

羅紗は減合みにて昨今の大阪取引は一四五六百五番三個九十五圓見當にて前週に比し强調な加へ漸騰歩調を示せり

生産額の不足見越

得ありたるに加へて兼々作ら平常品の小口注文ある模様にて爲め分市價の上進は免れざるべしと雖も既に相場も一般物價騰貴と稍持する今日一般…

錢方引戻

碎米弗々賣 ぜり又南大門市場に比し常圓方の大下落を演出して二千四五百個程見當は上玄三十四圓五十錢なり

需米は白米の騰貴に慶され鮮人間の食料として…の賣行きも不良なるが上、

潰屋口に相當

物は相場は此處数日間の持合の位にて特等二十九圓一等二十八圓五十錢二等二十三圓三等二十七圓五十錢なり

小麥氣直り

小麥は一時軟調を辿りしが其後河筋物の入荷殆ど絶え出廻りのみとなりたれば在荷乏しく氣配稍持直り相場は黄海道物十八圓五十錢見當を唱ふる

檢査品の

肉類は漸騰

牛生は引續き内地移出絶ゆる上近頃又時局攪乱にて所有者の賣惜める爲め一層出廻り薄を告げ價格も前報後更に五六圓方騰貴したる結果肉價も最近又々斤一錢

内外の高値

今の京城平均一日二十四五頭にて殺牛

半素の約三分の一

位に當れるも値高に連れ需要は不足といふ迄に至らず行掛の格別低落は見るべきものなきも行詰り状態は依然現状維持せるも命の保險は此上の漸次に減退するの偈の如く肉の品良猫豚次に凌辱せる傾あり其他牛肉賓方面も未だ商談は進まざるも漸々引合ひある等人氣締まる

肥料糠好況

糠は新米需要の爲め前年の活況を呈し出廻り品相當多くして紋に上れるも

出先約行 順次鬱

飼料としてはるゝ迄め目下精米所の持品さいふもの殆どなしとせ…

内地注文多く

共に好氣配なり相場は精特等一圓七十五錢上一圓五十五錢並一圓三十錢ヒマス上一圓六十錢下一圓三十錢なり

南大門廻穀

平澤白米二叺宮川大麥二五〇叺新義州栗一九〇叺泉大麥三一叺大安白米四五叺一山白米二七叺…郡山糧六五叺

仁川正米

▲籾の入津前日來稍多く出廻りたるも一般は明日よりの收用價格決定に如何なる變化を來すも難斗爲に見送りたるより不知不識の

八九千俵の大數に上

り時ならぬ出穀を見るに至り相場は在來六錢七厘神力種八錢八九厘見當を唱へ居るも前記の如き形勢にて見送り模樣行ければ更に安見越

▲正米は籾の入津多きと收用價格に依り如何なる變化を來すや方は必備口の外懸念にて高值にある丈賞より氣配軟弱二三等

合格品二十二圓

地揭米三十圓より三十一圓見當を唱へ居るも一向商談行はれず

生魚市場

▲城日丸市場 本日は仁川釜山元山物にて其内稍目立たるものは鯛鰹鯖にて著荷少數は少きも方なり從つて相場は一齊上向きを示せり

▲たひ六〇 ▲さば三三 ▲すゝき二〇 ▲めしろ一八 ▲にべ一五 ▲はう五五 ▲あはび五〇 ▲小たひ四〇 ▲ぼら二〇

仁川期米

三日前場

(依然强硬)

▲第一節各地電報未着にて當地場中停止中先二十四圓十錢を前止より

九錢高に寄付

き十一錢と跳れたるも高値は賣物多く○八錢と押して引

▲第二節…

株式會社仁川米豆取引所仲買人

全 高田仲買店

●前金御注文は紹介を不要 ●營業案内及電信略號表進呈

仁川海岸町三丁目 電信略符(メツ) 振替三八一一 電話長一〇〇 電話長一一九

三日前場

▲天候昨夜半小雨降りたるも明模樣となり今朝の各地電報未着なるも大阪昨止を受けて二十四圓十錢と寄付き一歩十一錢と揚げたる高値は賣物多く○八錢と押し二節更に七錢さ迄り保合狀態となった四節東京發電安は四十九錢とあり依て五錢さ押し下の關發電にて三節は三十四錢と報じたるも跡需着延期に附し從く然るに兵庫發電は大阪一節二十七錢二節二十七圓三十四錢を篩じ從に下の關發電の正確なり直ちに至つて九錢と跳ねたるに過ぎ〻して散合したり

▲市場は大阪の碎硬を受けたるも鮮人指正米の軟弱と籾の入津存外多く限先が模樣を見し居る等にて賽より定期と正米は買進む手口るにも拘はず高止まりし…なく多少に伸悩みの感があつた

結局値

米に呼

出遞した如く已に抱き難しと云ふるに…

籾の出廻多

り見れば本年の大豐作を受けて

大農の園

に…

米を賣りす出

接更に增加せん傾向

今回の補償價格問題

四日より米界に如何なる變化を來すか大に注意を拂ひつゝある時なるも丈一般は商氣迷ひにて一向乘り出し來らず今の如き例の小掛び商内に留まる市場り乍ら見ずるに至つて…振に活氣なき…跡大阪六節三十九錢東京四十九錢兵庫七十五錢の入電に接したり

仁川米豆取引所

三日の十一月限

	前場	後場
寄付	二十四圓十錢	
止メ	二十四圓○八錢	
高値	二十四圓十一錢	
安値	二十四圓○五錢	
出來高		

	ト均値段
二節	二十四圓○九錢
三節	二十四圓○八錢
四節	二十四圓○七錢
五節	二十四圓○六錢

白米標準値

四十圓

白米小賣値

一等白米 四十錢五厘 二等白米 四十錢

大阪米況

二日 大阪米況 休日中各地より注文殺到…

各地商況

釜山市場

二日 …

市場雜觀

▲前場は大阪前場六節二十六錢兵庫五四五十錢跡電にて當地先二十二圓九十九錢末着にて、…

九十九錢東京六

圓○二錢の報

大阪前止

雜報

綿糸布反騰

大阪 三品昨新市の發會は常限四百九十三圓三十錢新市四百四十錢…

更に人氣沸騰

…

當限六圓六十錢先十圓十錢

…

方の昇騰した綿布

…

十四圓一二十錢

…

正米跳返す

如く地場精米所に於ては今回の… 原料を買進

一等米の原料となる

稀なれば格好品は各自精米…

約五六十錢方跳返

千四五百石同地仁川筋

に引いて原料吸收上ちらぬ打擊

高値を豫期し更に突飛

…

原料採算上より之を低落餘地少く

白米氣强し

本日白米は昨報の如く市中賣行不良なりしを…

賣を中止

人氣甚だ強硬

鮮白引戻す

原料入荷少

…約五十…

窮民でない—晶子女史

米廉賣を願つたが斷れた

歌人として評論家として又十人の小兒の母として名の高い與謝野晶子女史は去廿五日良人鐵幹氏と連名で麹町區役所宛に白米廉賣券の配布を請求されました。家内は十人以上で然も一定の收入がないといふのがその理由だつたさうですところが區役所の役人は

▽生活問題

の研究材料にでもされる事と思つたものか、その配布方を斷つて來たさうですが、之に就いて同區役所の廉賣係の話を聞きますと『與謝野さんの方の事はどうなつてゐますか、只今たしかには判りませんが、元來が窮民の救濟を第一の目的として居りますから、其職業、收入、家族

▽家賃など

を常に區内を巡回してゐる水道係や衛生係のものに調査させまして、ほんとうに困窮してゐると認めたものに廉賣券を交付する事にして居ります勿論月收六十圓ありましても家族が多ければ月收二十圓の獨身者よりも遙に困るのであゐますから、さて調査に參りますと大きな

▽玄關構へ

の家で取次に女中が出て來たりするやうな家では、まだ〳〵餘裕のあるものと認めねばなりませぬ、或はその家が借家でなくて自分の持家であつたり、或は郵便貯金をしてゐたりするやうでは、矢張りそれ以上に貧窮な者へ廉賣券を遣はさねばなりませぬ、この邊の差別が

▽誠に面倒

なのであります『與謝野さんの方へお斷りをしたといふ事は未だ承知いたしませんが、多分調査中のことゝ思ひますので、その上でなければ廉賣券を配布するかせぬかは確定しない譯であります』云々。更に晶子女史のお話を伺ひますと『田尻市長から誰でも困るものには廉賣券は交付するといふやうな

▽お話しを

紙上で承知しましたので與謝野(鐵幹氏)と兩人連名で區役所へ請求の書面を差出しましたのです、ところが區役所からは、さほどの家とは認めないと言つて斷つて參りました、私の所では何か別に爲めにするとか、そんな餘裕のある考へからではなく、まつたく必要に迫られてゐますから

▽お願ひを

致した譯ですけれども、認められないのでは何とも致方がありません』といふお話でした、斯く語る、間もなく史は齒痛のためか頻に齒を氣にして居られました。最初お玄關に訪ね致した時もいつもの女中の姿

九月五日 九星

本命六白乾破友引 舊八月朔日乙卯

▲六白 我他彼比する事有日新事見合 ▲七赤 …方は吉に… ▲八白 …

▲一白 めでたき日 ▲二黑 … ▲三碧 … ▲四綠 … ▲五黄 …

馬鈴薯の芽

毒素がある 米の代用物

東京市衛生試驗所の柿澤所長は市民に主副食物として馬鈴薯を獎勵せんとし其成分から喰方一切に對する『研究』に依ると我邦の馬鈴薯の主成分は所謂澱粉で百中廿一の割合を含み非常な營養物で之を

米飯の代用

としても決して劣らぬ程である所が馬鈴薯の皮には芽があり此芽の所には

此毒素に就

ては私が京都に居た時馬鈴薯の芽を乳鉢で搗潰し其汁を兎に注射した處が其兎は二時間して斃死した事がある此毒素が人體に如何に働くか又如何なる種類の毒であるかは未知數であるが生で取扱ふ際には注意が要るから

子供等が弄

ぶ時には特に注意すべきである尤も煮るとか蒸すとか又は乾燥させると毒素が分解して了ふから害はない事こいふ矢張り蒸すか煮るかであるが煮るには鹽が一番である又蒸して鹽を著けて食ふのも好いし洋食として スープやホワイトソースをかけて食ふのも美味い

又蒸したの

を摺潰して バタと牛乳を混ぜ餡のやうにしたのも却々美味い兎も角米飯の半分丈でも馬鈴薯を食ふ習慣をつけたら餘程經濟的になつて來る南米の或地方では夜間の寒氣で薯の儘の片栗粉を製造して居る所があるる日本でも東北地方の如きはそんなことも出來る』

全部分切取るべきであるが更に恐るべきは生馬鈴薯の芽には一種の毒素の在る事である

院長 醫學士 森 定吉

森 (芙蓉醫院改め) 内科 小兒科 病院

…へ移轉… 流 隨意…

京城明治町三丁目 (旧芙蓉醫院跡) 電話二六三三番

幾野醫院

龍山元町 (電話一〇四番)

最上清酢 日本一 マルカン印

ほまれ味噌

上 醬油 京城出張所 電話二四五番

日本醬油株式會社

好評經濟的事務用 金ペン付 パインビジネスペン

定價 壹圓九拾五錢 京城本町通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

一番よくきくかぜつね藥

蛇印 アンチピリン丸

▲特長 ◎最新高貴薬の配伍 ◎絶對に副作用なし ◎胃中に溶解し易し

▲主效 ■感冒、ネツ ■インフルエンザ ■頭痛、麻疹 ■リウマチス、オコリ

▲藥價 十錢、十五錢 廿五錢、五十錢

本舖 東京 大阪 升平商會 賣捌は全國各藥店

りん病

出來 肌目 品質 淋 ヲ一十

急性慢性淋病 最新藥十錢見當分七日分一圓九十錢本舖は他 四十一圓廿五錢 …一個十錢

現金御注文は不要送料 四日分一圓 …

京城本町二丁目 振替 京城 二二七 山田文殊堂薬房

治療 わきが 好期

全快 實驗 ●證據醫學士●…●…●…● 新刊療法解說書全部…

京城日報

最新書式大全

▲▲菊版總クロース裝、美本、約九百頁▲▲ 定價參圓郵稅十八錢

本書は本年六月一日現在のものに依り之を十部に大別して▲第一部民事▲第二部商事▲第三部刑事▲第四部交通通信▲第五部財政▲第六部産業▲第七部特許意匠商標實用新案▲第八部恩給年金▲第九部警察▲第十部學事に分類し第一部にありては第一節戶籍法及之れに關する契約、通知、催告、答辯、等の書式を細別して其他の各部共之れに倣ひ且つ關係法令の順次に從ひて之れを示し而して關係法文をも揭げたれば其の便利なる事他に類例なかるべし

本書は實用を旨としあらゆる方面に其の材料を求め朝鮮に於ける總ての書式を網羅したるのみならず母國共通の書式をも揭載且多年經驗に富める士が編纂せしものなれば其の完備せることゝ敢て喋々を要せず何人にても座右に一本を備ふるに於ては他人を煩はさずして世事一般を知悉し公私の事務に付機敏に處理することを得べき良友必携書なり

敢て江湖諸君に勸む至急購入あらんことを希ふ

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番電話六〇〇九番 京城日報代理部

取次販賣所 △大阪屋號 △岩松堂 △日韓書房

金銀賞牌廿四個受領

タトヘ億万長者でも 健康は絶對に金では買へぬ

只毎食前一杯づゝの 美味滋養

蜂印香竄葡萄酒は

味つて見て下さい

メキ〳〵元氣健康を增進す

美味=滋養=濃厚 全く他品に卓越す

東京本町 近藤利兵衛

味の素

小麥から調味料味の素

日本に於ける化學工業の進歩

東京帝國大學理科大學教授池田理學博士が乾燥無味なる小麥粉より美味にして滋養に富む調味料味の素『學名グルタミン酸鹽を』發見せらるゝや世界の學者は此世界的大發明に對して等しく博士の成功を賞讃したり、而して明治四十二年之を社會に發賣するや其需要翕然として集り今や全世界に販路を擴張し、殊に屢々

宮内省御買上の光榮を忝ふす

味の素專賣特許發賣元 鈴木商店 東京 大阪

汽車發着

京釜線(南行) (北行) 京義線(北行) (南行) 京元線(北行) (南行) 京仁線(仁川行) (京城行) 湖南線 (南行) (北行) 同

[illegible]

年中無休刊（祭日翌日休刊）　大正七年九月四日　THE KEIJO NIPPO　（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）　第三千九百三十三號　（一）

京城日報

第五版

[illegible]の輸入に就ては外國船舶に對し[illegible]許可を受くる必要あるに至りたるものにて隨つて本邦汽船に就ても今の所にては只右の手續を踏む頃[illegible]に於て斯く沸騰[illegible]等と拮抗を保ち[illegible]汽船に對しても[illegible]上外[illegible]より北米或は瓜哇南洋方面行き[illegible]に於ては左まで大なる影響なかるべしとするも其他の場所假へば印[illegible]必要あるべしとなり（東京）

○製粉漸く下押

[illegible]の影響を被つて[illegible]今より先分共對應策を講じ置くの[illegible]せし製粉[illegible]なるに出兵範圍擴大説も加味せられたれば市況益々頑強となり廿八日辨天印九十錢は遂に六圓ドタで[illegible]其影響を被り辨天印九十錢五圓八十五錢と十五錢方の低落を示し氣配減切軟化し延いて賣買者相互間の値開き擴大せし結果取引閑散となり[illegible]せられたる矢先米價[illegible]落と小麥の軟調てふ軟材料の[illegible]せに因るものならんと思惟せら[illegible]（東京）

總督諭告に就て（下）

京城日報

今回の諭告は、米價騰貴の現時に於ける心得を主眼とするものなりと雖も、其の精神は區々たる一時の彌縫に止まらず、内外多難の時局に處し、君國に對する奉公の大義を申明せられたるものにして山縣政務總監の通牒に『諭告の主旨は決して米價騰貴せる目下の情勢に對してのみ發せられたる者にあらず、時局に處し、殊に戰場に近き朝鮮の位置に顧み、常に心得べき覺悟を示されたる儀に之あり云々』とある一節を深く玩味せざるべからず。思ふに歐洲の大戰亂は、渾圓球を化して一個の火團となし、思想上、物質上に猛烈なる變革の颶風を起しつゝあり。其の如何なる新面目を露出し、如何なる境涯に止るやは、豫測すべからずと雖も、此の大勢に順應し、國民一致の歩調を整ふるにあらずんば憐むべき落伍者たるを免れざるは必然なり。特に經濟界の如きは殆ど根柢よりの動搖を起したるを以て、舊來の組織其まゝにては、到底世界の大勢に伴なふ能はず、早晩的確鞏固なる基礎の上に、新なる樂造を爲さゞるべからざるの必要に迫りつゝあり。此點に關して歐米各國に於ては、夙に覃思精慮する所あり、目下軍事匆卒の際なるにも拘らず、官民協力して、將來の措置に怠りなきを見る。然るに我が邦人のみは、些細なる經濟界の好調に醉ひ、奢靡放縱を事とし、眼光豆大、目前の小榮華に眩惑し、毫も前途に對する覺悟を有せず、眞個に是島國根性の最弱點を暴露せるものならずや。吾人大いに友邦に對して慚愧する所なき能はず。

將來の事は暫く之を擱き、眼前の生活狀態に就て之を見るも、英佛の如き國の存亡を賭して力戰しあるものはいふに及ばず、正義人道のために、獨逸の暴虐を膺懲せんと聲言し、多數の兵員を歐洲戰場に輸送したる米國に於ては、其の國人は相誡めて物資の不自由に耐へ、飲食物の不給を忍び、小學校の兒童に至るまで、一致專心に報國の赤誠を輸しつゝありといふにあらずや。本邦は歐洲戰場と相隔離し、鐵火相撃の響は耳に達せず、修羅慘酷の光景は目に映ぜず、加ふるに『鬼の留守に洗濯』といふ境遇に居るを以ての故に、いよ〳〵國民をして戰時氣分に遠からしめ、一般國民は殆ど我海軍が地中海に勞苦し、我陸軍が西伯利亞に活動し居るを忘却せるの觀あり、是軍國に於て等に視るの異象にあらずや。此の原由は戰場の隔絶せる以外、國民が我軍隊の常勝に狃れ戰爭を以て國家の而も[illegible]せざるにも在るべく、又我當局が軍事行動を極秘に附し、一般國民をして休戚を相須たざるにも在るべしと雖も、何れにしても餘りに樂天的に過ぎ、坐ろ前途の憂慮を禁じ能はざらしむ。特に朝鮮地方は糧食の生産地として軍糧を供給せざるべからざる地位に在れば、官民上下擧つて奢侈を誡め、節約を守り、其の天職を完うするを努めざるべからず。蓋し西伯利亞に於ける我軍事行動は、現今の規模は未だ大ならずと雖も、形勢の變化は豫め測るべからず、究竟目的を達するまでには、實に容易ならざるものあるを以てなり。然りと雖も戰時氣分の緊張は、到底之を外部より強制すべきものにあらず、要は各人各個が自發的の至誠に由らざるべからず。唯其れ職に牧民の責を負ふもの、一般の風潮を善導し、其の向ふ所の正鵠を指示し、苟くも邪路に走らしむるなきを要す。諭告に『歐洲の戰亂は益々紛糾し、經濟上の關係が其の影響を受け、益々複雜の景況となれり、今後と雖も物價の昂騰其他諸種の變動、時に襲來することなきを保すべからず、國民たるもの宜しく長期の戰役に堪ふるの覺悟を以て、奢侈を斥け勤儉を重んじ、又克く自制協同の念を鞏固にして、幾多の事變に遭遇するも屈せず撓まず、以て終局の目的を達するに努むべし』この訓誡は、所謂兒のために拖泥帶水を厭はざるもの、新附の民に對しては更に一層の必要あるを疑はず。若夫此の諭告をして實際の効果を生ましむると否やとは、一に繫りて各道長官以下直接民人に交渉する官吏の上に存すべし、吾人願はくば刮目して見る所あらん。

特殊部落民善導に就て（一）

帝國公道會長 伯爵 大木遠吉氏談

全國百五十萬の特殊部落民を如何に教化善導すべきやに就いては、今次の騷擾にこれ等部落民がその主動者たりしに見て、經世家の最も留意すべき問題なり則ち案を大木伯に叩く

明治四年階級打破四民平等といふことが、宣言さるゝことになつて、所謂門地門閥に區別がないといふことが唱へられるやうになつた。而して彼の特殊民なる者も四民平等といふ圏域に入り得るものといふことゝなつた。然るに實際に於ては世人は特殊民は矢張り特殊民として取扱ひ、彼等と交際することを忌み恰も奴隷の如く、露西亞に於ける農奴なるものゝ如き扱ひをしたものである。然し政府には何處までも變りは無かつた。で、私が今日此の特殊民の善導に力を注いでゐることは、私の家に不思議な奇縁がある。其れは明治五年の頃であつたが、彼の大江天也といふ人が、當時の大藏卿であつた大隈侯の家に食客をしてゐたが、彼は侯に向ひ『特殊民に對して差別的のことを爲すは不都合だ』と云つた。ところが大隈侯は『然し其れは大藏の關する所ではない、民部の所轄に屬するものなれば、民部長たる大木伯（私の父）に建言せよ』といふことであつた。其處で大江は民部長に向つて是を建言したのである。民部長は大に其の言を尤もなりとしたが、然し自分の一存のみでは不可ぬ、外にも知る所もあらうから、其れを諮れといふことであつた。すると大江の『四民平等といふことになれるも、眞に然らざるが故に建言したのである』と答へた。かくて大江を遂に民部の役人にすべく各藩諸公に圖つた。所が大江を山内藩が拒んだのである。で、大江が斯くの如く特殊民に對して力を入れるに至りし理由は、大江は宿毛といふ高知藩の家老としての領地を有してゐたが、常に藩の冷遇別待遇を受けてゐたので、此際も矢張之れに對して山内藩が不同意をしたのである。そして『其うといふことならば他に人材があるから他の者を』と云ひ出た。其の時私の父は『君の藩には、其れ迄に特殊民に對して、事情に克く通じた、これを支配するに堪能なものが居るか』といつて問ひ返した。すると山内は『イヤ、さういふ意味に於ける人材であるならば其れは無い、お眼鏡に依て折角大江を朝廷の吏に御推薦になつたことに對して相濟まぬことを申した』と云つて、遂に大江を用ふることになつたのである。斯くして大江は又私の父に向つて『同席として今一人人材を登用して呉れ』と云つて、民部の役人にすることを申し出た。これになつたことは、實に破天荒なことであつたのである。そして此の役は明治五年から七年頃迄續いてあつたが、それ以後は歴官になつたのである。爾來歳月は匆々として流れ、大正三年、即ち今より五年前、大江が老後の仕事として、此の特殊民族善導事業を遣らうと云つて、私の所へ來たから、其れは先づ板垣伯に圖るべしとて、板垣伯の下へ行くことを勸めた。そして板垣伯が此の會長になれば私が副會長にならうと約した。所が間も無く板垣伯の辭する所となつて、私が會長となつたのである。帝國公道會は、斯くの如くして成つたのである。（東京支局）

哈爾賓畫觀（八）

鶴田吾郎

甘露西亞寺院!!

宗教の國、節の國とも云はれた露西亞は、彼等の民族が集る處に美しき寺院建築を造り上げる、日本の佛教が衰頽に臨むで彼らに和洋折衷を加へ貧弱なる寺院を設けるに比して如何に彼等が根本的に宗教を置き行きしかといふことは此の寺院が先づ市街設計に際して第一に考へたかといふことで解することができる、植民地として又代々多く經過しないといふことにも因るが、たいして見る可き建築の建築美は無いけれど、變化なき地勢の上に空に聳ゐて立つ四五の露國式寺院は確にハルビンを美しくしてゐるのだ

西伯利の鑛産 各國の注目

東部西伯利は各州ともに山岳に富める一系は

▲頗る豐富で ある、殊にボルジャ河の中間に横たはる山脈の如きは鑛嶺の稱さへある程である。銀鑛はハマルバサン山系及びネルチンスキー山系の諸所に存在し、銅鑛は鐵鑛の撒布してゐる土地に散在してゐる。炭鑛は二十餘箇所あるのであるが炭質粗惡の爲めに貝加爾湖畔の一坑を除けば他は餘り有望ではない、最も多いのは金鑛である、現在の重なる坑數だけでも二百六十坑以上もあるが、其系はウイッチム河に沿ふもの、バルクジン河に沿ふもの、ヤブロノーウイ山系に在るもの、チコイ河に沿ふもの、シルガ河の上流ダウールの山系にあるもの、黑龍鐵道沿線にあるものなどは

▲最も重なる ものである、黑龍州に於ては小興安嶺東附近には銀、及び亞鉛と混合してゐる鉛鑛がある然も現煉は容易で大正三年には浦鹽斯徳より三池港に向けて三萬八千斤價十五萬九千圓同四年にはテチユへ鑛業株式會社及び在大阪日本工場間に亞鉛鑛六千噸餘の取引を見たのである石炭に烏蘇哩河系と黑龍河系に沿ふシホテアーリン山系及び樺太島の有望なる金鑛がある石炭は殆ど

▲到る處に産 するが多くは褐炭であるので本州に於る燃料を充すには足らない（東京支局來）

殊に米國は 此の數多んでゐるので鑛物の撒布も甚だ多い、然し其存在を探險調査した許りで未だ悉く採掘する事が出來なかつたのである而して今や各國共に稗く注目し

▲殊に米國は 此の數多の富源を掌中に收めんとし多大の資金を投じてはゐるもの、露西亞の内情は愈々採掘を困難ならしめてゐるので此の先如何なる結着を見るであらうか想像さへも附かぬ、ぶれば先づ後貝加爾州は鐵鑛が多く磁鐵、赤鐵、褐鐵及び藍鐵士の産地は五十餘箇所に達してゐる後貝加爾鐵道の主要驛たるペトローフスキーザヲードを中心として四百露里内外に撒布する鐵系を主として、ネルチンスキー山系に現はるゝものの及び貝加爾湖の東北岸に連亘する

▲現在の坑數 でも約二百に餘るのである、沿海州は同じく鑛藏に富み聖オリガ灣附近には含有鐵分五十パーセント以上の磁鐵礦脈がある、テチユへ、オリガ富なる鑛脈がある[illegible]てゐないヤブロイウイ山系にも豐富なる鑛源がある[illegible]は本州唯一の富源でゼヤ河系に於ける産出を主として未だ開掘せられてゐない、資本の缺乏、炭質の粗惡及び薪材の廉價なぞの關係上未だ採掘の運びに至つてゐない、金鑛は輸の不便、資本の缺乏、炭質の粗惡十數箇所許り發見されてゐるが運ゼヤ黑龍ブレヤの諸河系に沿ふて成るといふ樣な感がある、炭鑛は達してゐるで全山殆ど鐵鑛を以て鐵分は五十乃至七十パーセントに の如きは延長四十露里に亘り含有殊にサマラ河畔に接してゐる鑛脈部斜面の到る處に鐵鑛脈がある

個性と國民性（八）

文學博士 吉田熊次氏講演

理性的個性は悟性及び直觀性を排除するものに非ず寧ろそれ等を内容として自分の中に取入れるものであると思ふそこで眞の個性としての完全なる働きは此三者が調和的に働かなければならぬ。是等の個性の考へ方は舊式ではあるが、個性調査といふ樣な場合に於て視覺系の個性、聽覺系の個性などゝ云ふこともある。又昔は智情意と云ふやうにも云はれてゐたが今日に於ては斯かる大雜把な分かち方を以て滿足しないのである。併し單に一般の心得としては此處に列擧したやうな大雜把な見方でも何等か教訓を與へるものでは無からうか。個人を離れて社會無く、國家無きと同時に國民性を構成する要素は何と云つても個性である。故に其民族其國家が健全なる國民性を以て健全なる發達を遂げることが望むべきことであるとすれば個人個人は其個性に就て反省すべきだと思ふ。云ふ迄も無く一人の人間として世にある以上自分の行動は全部自分の責任に屬するので常に此の自分の一生を棒に振つて居る譯である。されば日々有意識的に顯はれる行動の奥に悟性的理性的の深さが無かつたならば、個人としての行動が國家を思ふ國民性を作り成すに至るものだと考へたならば、國家國民全體の永遠の生命と活動との上に於て此方面の修養を積むべきではあるまいか。此理論を實際に我國民に應用し、殊に當地の我同胞に應用したならば如何かは之は私の申上げる迄もあるまい。若し私のお話の中に此理法に考へて行動すべき天地の理法に適つたものがあるとすれば之を參考として諸君が各方面の活動の上に於て考慮を費され度いと思ふ次第である（完）

並行線（七十）

瀧 閑村

今年になつてから光一の家には災難が續いた。新年早々長男の護が丹毒に罹つた、幸ひに早くワクチンの注射をした爲に全癒したと思ふと二男が肺炎を疾んでお村は毎日氷を買ひに行つた、是も三週間程で快くなつたが、其病中光一は重要な書類を入れた包みを遺失した、亡父の一週忌を終つた二日目に殘つたお村が顏に疔を發した。人の勸めで一里程在の昔から或灸點屋へ行つた。ヅク〳〵惡寒がして車に搖られて行く途中も非常に苦しかつた。患者はモウ二十人も待つてゐた爲に、お村は一時間餘を苦痛を忍び乍ら、薄暗い待合所に顫へてゐた。漸く自分の番になつた。灸點の先生は割合に若い男であつた。お村の面疔を暫く眺めて、周圍を指で押してゐたが、『是は甚だ出來所が惡い、けれども早いから癒る、モウ二三日も先へ行くと迚も駄目だつた。』と云つて、兩手の拇指の傍へ灸を點してくれた。『据られるだけ据なさい、詰めて据るほど早く癒る。』といひ棄てゝ次の患者を呼んだ、お村の車夫は其時晝飯を食つてゐたから、お村は復暫く待合所にゐた。乾度癒るといはれた言葉に幾らか安心はしたが、胸は暗かつた。

まだそこには十五六人待つてゐた。其多くは近い村々の農家の女房や娘などだつた。彼等は憚りもなく大きな聲で話してゐた。聞くとも無く耳に入つたのは、何處かに大變上手な巫女があるといふ噂だつた。

『そりやお前、怖かねえ程よく中るだ。あの榎木の裏の内儀の、指輪を盗まれたの、狂氣のやうになつた。』と四十程の猫背の内儀が話し出した。

『二十兩ぢや大したこんだ。』

『大したこんさもな、お前、それで人に教へられて巫女さん所へ行つたら、四五日中に出るにや出るけいが半分しか出ない、と云つたゞ。』

『ふん。』と皆其内儀の顏を見る。

『さうするさ、お前、五日目に泥棒が捉まつて、十兩だけは戻つて來たと云ふで無いか。』

『不思議だなア。』

『不思議こもな、そこが人間業で無いからだ。其外病氣でも何でも伺ひを立てると、ピシ〳〵云ふが怖かねえ程中るだから。』

お村の散々災厄に脅かされた心は、そんな人にも縋らうとする迄に弱くなつてゐた。

『其巫女さんのお宅は何處で御座いますか。』と躊躇せずに訊ねた。猫背の内儀はお村の顏を一寸見たが、

『××村でがさア、こゝから十二三町もあるづらか』と答へて、

『お前さん聽聞かね。』と反問した。

『え、』と此質問を曖昧にして置いて、

『何時行つてもお伺ひを立てゝくれるのですか。』

『午前だけでがす。』

『さうですか、有難う御座いました。』と挨拶して車に乘つた。

何故か車の上でも屢々其巫女の顏がお村の眼前にちらついた。

時事偶感　河島 乾六

列國兵爭已四年。江山一帶陣雲連。砲煙合浪熊蒼海。鮮血染原敷赤氈。豚犬和親猶可愛。弟兄仇敵轉堪憐。奈翁覇業終難覓。肥馬高秋孤島天。

學鳴曰、悲壯凄涼、不堪多讀、

殘暑　藤官 藤蔭

槐花飄處竹床横。秋意未知秋色生。日午計温超百度。漢陽城是火牛城。

學鳴曰、點景痾絶、後半極奇想、

戊午初秋、與岩山莊子、同泛釣艇于馬山浦、會海雨甚至、乃同棹浴下老泉一首　永井 烏石

蘆花荻葉已新秋。共向蓉心棹小舟。不管西山煙霧起。短蓑釣雨亦風流。

學鳴曰、風流可想、五湖之興不足羨也、

馬山浦頭泛漁船。煙笠風簑學釣仙。鱸鯉無魚君莫笑。御楔避雨浴靈泉。

學鳴曰、靈泉浴詩題、思有禪脫之情、

侃諤の論議・瑰魂の社會記事滿載の九月號

朝鮮公論

西伯利亞出兵に對する嚴正批判（諸名士の評論）
△積極的出兵を高調す……法學博士 田中萃一郎
△西伯利亞出兵と經濟的影響……法學博士 井上辰九郎
△出兵問題と無理解の言論……法學博士 松岡均平
△世界の形勢と自衞的出兵……黑龍會主幹 内田良平
△米國の浦港出兵要旨と日本……ドクトル 植原悦二郎
△出兵宣言と政府の苦衷……代議士 岡崎邦輔
△露獨の關係と出兵主義……男爵 目賀田種太郎
△秋風來……不案 △枝豆と蝦夷菊と……胡蝶
食糧問題の根本解決……總督府警務總長 兒島惣次郎……法學博士 平沼淑郎
教育勅語と朝鮮人教育……關屋貞三郎
△漢詩二篇……和田天民 △公論餘滴
△國體の哲學……法學士 藤沼武男
△抱膝獨語……藤天怪翁 △あくびの後……秦破拔牛
第四十議會に於て暴露されたる總督府の不當支出
西伯利亞出兵を機とし朝鮮官民の奮起を促す 社説
時局と國民の覺悟……朝鮮軍司令官 宇都宮太郎
△囈語漫言……冷言居士 △かなかなせみ……（蟬彼見る可からず）
四將軍蠻カラ物語……抱腹絶倒の奇聞逸話……近川散史
△花柳病の話……瀬戸醫學士 △清華亭の改善を望む……振羅禮男
朝鮮に於ける造林の趨勢……田中課長 熱の不法用……上村技師
朝鮮に於ける金融機關の現状……總督府理財課長 有賀光豐
△朝郵の社長格松崎君……一記者 △内地及在外鮮人の趨勢
▽北滿洲游記……牧山玄濤
△流轉の男漂浪の女……旅の男 △姿くらべ……
怪談……胡蝶子 △最近鑛業界……鑛業通
▽滿洲に於ける事業及人物批判……石森生
◎購讀申込所 京城 朝鮮公論社 振替京城五七七番
◎定價一部金三十五錢 郵税一錢五厘 ◎ 六冊前金一圓八十錢 郵税共 ◎ 十二冊前金三圓四十錢 郵税共 ◎ 全國各書店に在り

最新刊

書名	著者名	定價
現代碩學百科辭林	菊池特一	二・五〇
巴の丹	究讀八	五・〇〇
支那礦產地	小田一郎	一・五〇
最新亞歐現勢指掌圖	民友社	・五〇
東部西伯利地圖	參謀府	・三五
朝鮮語一週間速進法	鈴木	・七〇
打碁と要領	野澤竹朝	・二〇
最新五先定石新法	中川龜三郎	[illegible]
大正七年度遞信地圖	遞信局	・五〇
準禁治産	宮田參三郎	一圓五十錢
會社商店に必要なる 手形と會社法釋義		
商法釋義	三浦	九五
小資本大資本最善運用の秘訣		八五
ケーリー式の學校		七九
改正所得税と時局利得税と質際問題	安藤	一・五〇

京城本町 大阪屋號 電話六八四番 振替京城二五七三番

自神洋行 京城
鐵 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘
ペイント、油類一切 コークス、セメント 耐火煉瓦、モルタル スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他
新田帶革總代理店（物價表御一報次第無代進呈）

一 アスファルトフェルト 各種
一 便利瓦（和製マルソイド ラバロイド）各種
京城永樂町二丁目六〇 德田商會 電話二三二五番

忽十版 パン 米價半減 滋養絶大 家庭パン製法
東京市長 法學博士 子爵 田尻稻次郎先生序
七博士推薦 日本一安價生活法
發行所 東京神田 大日本食料品研究所

汽車開通
營業開始
琴湖西岳（慶州入口）間
八月三十日 九月一日ヨリ運輸營業開始致候
朝鮮輕便鐵道株式會社

秋の旅行鞄は 魔法瓶の
旅行具專業 岩田鞄店 京城本町二丁目（電話九四五番）

◇湯化龍暗殺さる

湯化龍氏は加奈陀に於て支那理髪師に暗殺さる加害者亦自殺せり（二日午前十一時半東京發至急電報）

▽原因想像し難し

某消息通談＝既報湯化龍氏の暗殺に就きては甚だ確報無きも湯氏は最近南北妥協の意見を有し馮國璋氏に好意を有し段總理には中立的態度を持し徐樹錚氏とは全く反目の狀態にあり南方人士は常に湯氏の意見に對し敬服し南方調停の地位に在る關係上殊更憎惡する者無き筈にて性溫厚篤實穩健なる意見を有する人なれば兇手に倒れたるは殆んど想像し難く或は徐樹錚氏一派が他日湯氏の勢力挽回を虞れ惡辣手段を用ひたるに非ずや云々（東京特電）

◇徐氏選擧反對

長江三督軍は徐世昌氏を總統に選擧するに反對なりと（北京特電）

◇米大統領徵兵案署名

ウヰルソン大統領は兵役徵兵案に署名したるが全國の十八歲以上四十五歲迄の男子にして未だ登錄せざる者は九月十二日迄に登錄すべしと布告し同時に米國は最後の勝利を博す可き嚴肅なる目的を有する旨宣言せり而して登錄する可き人員は千三百萬人に達すと豫期され居れるが全部は合格せざる可し（紐育特電）

◇聯軍獨空中襲擊

アムステルダム來電＝獨逸より歸來せる旅客の談に依れば聯合軍の空中襲擊に依りコロン市にては四十名の死者を出しマンハイムは全市殆ど破壞され居り ビンゲン及びコブレンツに於るアニリン工場は全く破壞されたり（路透電報）

◇米軍シマコフ進出

米軍はシマコフ河の東北に進出せり（倫敦電報）

◎官吏臨時手當增加決定

三日の閣議に於いて官吏臨時手當の件決定し近く公布さる可きが判任官は現在二割五分を四割以內に增加し高等官は本俸と臨時手當を加へ二千二百圓に達するを限度とし臨時手當を給與す但し本俸九百圓以下は四割の手當を給與す可し（東京特電）

◇朝鮮と共通法施行

第四十議會の協贊を經て公布したる共通法は六月一日より施行せらるも臺灣、朝鮮には未だ戶籍法を施行せざるより目下總督府にて律令制令の起草中なれば成案を得次第臺灣朝鮮にも右共通法を施行し同時に戶籍法の一部を主として內地人と臺灣朝鮮人との婚姻に伴なふ戶籍の出入に關する規定を改正する害にも法制局は律令制令の公布後之に準じ改正を加へ四十一議會に提出する順序なりと（東京特電）

◎正貨總額減少

大藏省發表＝八月末現在正貨總額は外債利拂ひの爲め同月十五日現在に比し三百萬圓減少し十二億四千三百萬圓となれり（東京特電）

◎國產業界一斑

▲食料品及燃料 食料品の節約に就ては當局共同一致して勵行之が必要なきに至れりと食料管理……石炭の供給不足……

▲絹業狀況 生絲……以て……

◎關稅存廢と酒類移入稅

京城移入酒商本莊、田中兩氏及び其他二三同業者は三日午前總督府に矢鍋稅務課長を訪問し大正九年九月現在の朝鮮關稅存廢後に於ける酒類移入稅に關し希望を開陳したるが右に就き矢鍋關稅課長は曰く『酒類移入商諸氏の陳述は明後九月現在の朝鮮關稅の存廢と云ふ問題が起つて居るので其以後移入酒に對して當局が如何なる態度を執るか其如何は自己の營業上重大なる關係があるので實はそれを確かめ度い意響であつて今茲當つての問題ではないのである當局で稅關の存廢に就ては臨時關稅調查課を設置して目下存廢の可否に就き調查を行つて居る位のもので諸氏の要求する答辯は出來ぬ譯であるが要するに現在の內地酒移入稅率の從價六分より不利益な高率の稅金を課せられぬ樣にと云ふ希望を陳べられた迄の事である』

◎郵便貯金減少

朝鮮郵便貯金は七月初旬に於て一千二百九十萬圓を示せしもその後漸減の傾向にて八月末は一千二百五萬圓預入人員百三十五萬人となれりその原因は素より米價の騰貴を主とする諸物價昂騰の結果預入者の主力と目すべき俸給生活者が貯金能力を減殺されしためなる如く增給等何等か救濟手段を講ぜらるゝか若くば物價の低落せざる限りその拾頭は當分望み難からんとの事なり又七月頃までは鮮人側の預金に減退の模樣なかりしも八月に入りて預金等の關係もあらんが預入減少の傾向を見るに至れりと

◎間島輕鐵踏查 技術者の北行

日支合辦事業たる間島天寶銅山會社にて東拓より資金を借入れ會寧天寶山間龍井村局子街間並に天寶山間の輕便鐵道敷設の計畫ある事は客月報道せしがその豫定線測量のため技術者約三十名は天寶銅山の飯沼谷氏と相前後して入京中なりしが一兩日前間島に向ひたりと

◎救濟金割當 不日各道に配送

既報の如く先般長谷川總督は米價騰貴の結果生活困難を感ずる者の救濟資金として金一萬五千圓を各道に對し分附せるが救濟資金の割當……

湯氏略歷

別電加奈陀の客地にて暗殺の報ある湯化龍氏は字名濟武年齒四十四湖北省蘄水の人留學出身にして北京進士前より官費生に選まれ日本法政大學に留學し光緒卅四年（明治四十一年）歸國す同年民政部主事となり宣統二年（明治四十三年）湖北諮議局議長に推されたり時恰も外國借款問題に鐵路國有問題の爲め民論沸騰し特に湖北に於て激甚なりし時に會し湯氏亦副議長劉賡藻及び姚晋圻氏等と共に諮議局を代表して外資拒絕鐵路商辦の議を主張し總督府及び中央政府に迫りたるも其の目的を達するを得ざりしを以て更に武漢各團體の輿論に訴へ其の決議により直ちに中央政府に强要せしも容るゝ所とならずして歸騎するや忽ち

武昌革命の擧

あるに會し擁せられて都督黎元洪氏の下に民政總長となり共和政府成立後湖北選出參議員となり更に參議院副議長に推され後教育總長に任ぜられたり帝政問題起るに及び天津に走り次いで上海に去り大に反對し各方面の同志と聯絡し運動に最も努め民國五年六月袁世凱氏死するや黎元洪氏の召電により直ちに入京し

南北の妥協を策

し次いで上海に歸りしが偶々日本に在りし夫人の病死するあり、郷里湖北に歸り後再び北京に上り前內務總長たりき段祺瑞氏派文人中進步系の筆頭にして林長民、梁啓超氏之れに次ぐ中央政府に於る勢力も多少利けど湯氏郷里湖北に於ける人望は實に偉大なるものありたり支那國事艱難の際有爲の士を喪ふ隣邦の爲に悼む可きなり

◎貨物小荷物制限

列車時刻變更中は鐵道院線發着の新聞雜誌に限り之れを取扱ひ鮮方面著小荷物は新聞雜誌に限り之れを取扱ふべく鐵道院よりの大貨物輸送は全然停止する事となれり又朝鮮線內に於ても屍體等は輸送を謝絕しその他大小荷物は輸送の狀態に應じ取扱ひを謝絕する事あり更に國際列車客車貸切り及び大邱沙里院官川市場往復の割引乘車券

◎列車時刻變更に就て 一般の了知を望む＝鐵道當局談

▲當局の希望 鐵道京城管理局の當局は曰く本月九日より實施する全鮮列車時刻の變更は非常に止むを得ず行ふものなれば旅客にとりては誠に氣の毒なれど時刻變更中は團體旅行又は遊覽等は出來得る限り見合せられたし京釜京義兩線に連結され居る展望車並に食堂車は時刻變更中之れを廢止す但し一人旅客に對しては南大門喫茶店及び大田驛二階食堂にて喫食又は辨當等の調理に應ずべし

▲本線不定期列車 釜京義線には夕刊所報の外左の不定期列車を運轉す但し營業上の狀態によるを以て運轉せざる場合多かるべし

▲北行

釜山發	午後五時十八分
南大門著	翌日午後零時三十九分
同發	午後一時三十一分
安東著	翌日午後一時廿四分

▲南行

安東發	午後八時〇五分
南大門著	翌日午後七時廿七分
同發	午後八時二十分
釜山著	翌日午後五時廿五分

◎製圖課廢止

臨時土地調查局事務分掌規程中製圖課を削る事となり三日官報にて發表されしが右は事業進捗のため同課所管事務完了のためにして課長赤崎參輔氏は既電の如く免官となり課員も夫々罷免されたり

◎土地調查完了

臨時土地調查局は本年度中に事業終末する計畫となり居り各課作業の進捗を期しつゝあるが目下の所各方面の主腦たる局務は全く完了し附帶の業務を執りつゝありと

◎資金集散豫想

朝鮮銀行調查九月中に於る朝鮮の資金集散概算を聞くに收納は百十六萬三千餘圓散出七十一萬九千餘圓にして內譯左の如し

▲收納

租稅收入（官錢）	四〇一、九七三圓
諸會社拂込（東畜會社外四社）	七六一、一五〇
合計	一、一六三、一二三
一月以降累計	一一、〇一六、六一〇

▲撒出

國債償還	一五、八〇六、六八
償還債利息	六四三、三六、〇一
債券及農債利子	六〇、五三四、五二
計	七一九、七〇七、二四
一月以降累計	四一、一六六、一九一

◎叙勳

八月二十九日附左の通り叙勳ありたり

叙勳四等授瑞寶章 正五位勳五等 肥田健吉

從五位勳六等 岡本至德

正六位勳六等 市川豐治

同 高見長恒

叙勳五等授瑞寶章 從六位勳六等 四方田榮太郎

同 宮澤良也

同 福田豐喜

叙勳六等授瑞寶章 從六位勳七等 土方捨次郎

正六位 榎本師美

同 岡俊雄

◎私設無線電信

川崎造船所は航行の安全、海運事業及び電信送受の便宜を圖る爲め無線電信施設を計畫し其の許可を無線電信法に依り遞信省に出願したるに二十七日許可を得たるを以て直ちに準備に着手する筈なるが其の設備の概要を擧ぐれば無線電信機器はクエンチトスパーク式を採用し汽船興福丸に裝置し使用電波は長さ三百メートル乃至六百メートルと爲し電信通達距離は晝間五百哩執務時間は午前八時乃至十時午後二時乃至五時午後八時乃至十二時の三回と爲す豫定なり無線電信を民間にて施設せるは川崎造船所を始めとし同所は私設無線電信の嚆矢なりと

◎中外新論發賣禁止

中外新論九月號は治安妨害の廉に依り發賣禁止されたり

人事消息

▲國分象三郎次官 病後靜養の爲め三日午前八時四十分發の列車にて溫陽溫泉へ

▲牧山代議士 北海道及び樺太地方の視察を終へ歸京の途五日東京著八日同地發歸京の途に就く筈

▲島田賴禮氏（第七十七聯隊附陸軍大尉） 三日夜入京巴城館へ

▲中野澂氏（鮮銀大邱支店長） 同上不知火へ

▲新田隆平氏（慶北事務官） 同上

▲青戶波江氏（神宮皇學館國學院專與所講師） 京城神社の招待に依り三日夜入京京村ホテルへ投宿

◎大阪より

▲金融變動頻繁 金融界は彼岸後コール一錢三四厘に緊縮を續け居たるが八月廿六日の國債第一回拂込を準備として各銀行が一齊に資金の回收に努めたる爲め許資金俄に潤澤となり廿三日に至り七厘廿四日二厘と一擧五厘方の崩落を告げ廿六日には當市の拂込金約一千三百萬圓ありたるも些の影響なく僅に一厘乃至二厘方引締まるに過ぎず廿七日には又々三厘方低落してコール翌日拂七厘を唱ふるに至りたり斯く變動劇しきは全く銀行の手許資金の潤澤なるを示すものなると一方長期の貸出しを手控へ居るに依るものにして此趨勢を以て進まば月末拂の需要も三四厘方の高騰に止り越月と共に再び軟化せん九月六日の國債第二回拂込みに又々緊縮を見るべく目先大幅の高下を繰返すならんと

▲對露爲替取組 對露貿易の關係なるが露國政府は外國爲替の減少と共に最も急務なるは爲替取組を禁じ居るも現在に於ては自然消滅に歸したるより朝鮮銀行は輸出業者の要望を容れて愈在浦鹽松田銀行部（東實上海鮮銀行支店）と同行との間に爲替取組を開始する事に決し近く公表すべしと

▲輸出豆增收 米國向き輸出北海道產小手亡豆は昨年騰貴を告げ百斤二十八圓の高値を唱へたるより本年は各農家とも植付を殖加し昨年に比し五割方の增收なるが相場は十九圓見當を唱へ强保ち合ひなり之に反し青豌豆は小手亡豆に比し價格低位にある爲め植付け減少し昨年より三割方の減產にして十六圓五十錢見當を唱へ居れり

▲倫敦羽二重市況 倫敦羽二重市況は獨逸の攻擊失敗に終りしため民心稍安堵し市場は漸く沈靜を極めざるが絹物の需要は引續き旺盛にして歐洲方面の入荷は徐々減少し羽二重は行良好なるは歐洲減退の結果と見るべく倫敦其の他の多數絹物製造業者は絹物騰貴を見越し買付けを試みたるもの少からざる模樣なるが一般の働力不足は是等製造業者に不便を感ぜしめ居れり……羽二重の入荷は……相場は羽二重……十六匁……

◎京畿道大豆作況

京畿道管內に於ける大豆作況を聞くに播種以來天候順調にして降雨も多量なりし爲め發育生長良好なれども病害の發生せしもの少く僅に二三の郡に水害を被りたるものは幾分成績不良なるを免れざるも他は一般に生育良好にて目下のところ收穫豫想高は四十四萬六百七十八石即ち前年の實收高より一割七分增收の見込なりと

◎大田郵便局長

大田郵便局長は從來判任官なりしが今回高等官を任命する事となり遞信事務官補江越米次郎氏は二十九日附任命されたり

◎在鮮人留學生懇親會

總督府學務局主催朝鮮人留學生懇親會は三日午後三時より市內南米倉町京城俱樂部に於て開會約三十名來會總督府側よりは關屋學務局長弓削學務課長上田視學官等列席夫々一場の訓話を爲したり

◎丹波博士入京歸

帝國大學名譽教授藥學博士丹波敬三氏は夫人同伴來る十三日南大門著十四日藥事會講演會に臨み十五日朝鮮藥學校開校式に臨場十六日滿洲に向け出發の豫定なりと

鳥瞰雜俎

▲レニンがやられたレニンと云ふ名前は最う耳にタコが出來る程聞いて居る▲女社會黨員の爲に暗殺せられたのは面白い元來レニンと云ふ男は剛情な事はやるが女にはノロかつた男らしい▲既に多分未だやつて居るのだらう世界女大臣の嚆矢としてレニンが命じた救濟省長官コロンタイ女史とは關係がある▲其から度々傳へられたものだ▲其から戰爭開始の當初獨逸から間諜として入込んだ女獨探の首脅に逐つて婦や女房と喧嘩をやつた事もあつたが大概の場合レニンは女には弱かつたらしい▲だから彼の樣に破壞的を極めて居ても女と思つて氣を許すよりは寧ろ下手だからであらう▲兎に角露國を今日の如く打壞した彼の力は明瞭彼は破壞力は大であるが建設力はからきし駄目である▲レナ彼の主義は建設には比例して居る彼の死はたしかに世界から大なる破壞を止めたのであらう他は恐らく實は痛快に思つて居るに相違ない▲或人に言はせるとレニンは至極生眞面目で經濟學者だと賞揚するが成る程そうかも知れない▲一體彼は何の樣な男か夢想狂か傀儡師かさもなくば一箇の爲政家か▲其は兎も角として彼がまだベルンに潜伏して居た時分などは下劣なものだつた事は諸種方面から知る事が出來る▲彼が過激派の牛耳を取るや露國會議もなく聯合國との秘密條約を發表したり▲獨逸と講和條約を結んで見たり如何に主義とは云へ亂暴を極めたものだ▲天下滿敵の至極生眞面目な人もあるまい國內を餓鬼道に陷らしめる經濟學者もあるまい天下を賣る一大爲政家もあるまい人を笑はせる▲レニンが倒れたと云つて早くも過激派が全部滅亡する樣に考へるのは尚早だ▲まだトロツキーも居ればチヘイゼも居るカーメネフやジノウイエフやルナチャルスキー！なども居る筈だ▲が過激派の一大勢力が失墜した事は事實だ而し殘黨の蠢がまた何う云ふ事をやるかも知れぬ▲獨逸が得たりや應と此機會に付込むかも知れぬ

◇日置公使

……

仁川期米

實業之日本

北と南に發展的新智識を求めよ
西比利の地理 理學博士 山崎直方
米國の西比利經濟の抱負…梅田潔
東部西伯利の地圖
西比利亞に活躍中の日本の實業家
南智利 智利代理公使 飯島龜太郎
米價と物價 渦巻ける米問題の中を狂舞せる走馬燈的人々を
成貧同情論 增田社長
四つの我慢 新渡戶博士
闘塚磐氏の人の使ひ振り 當世書界內輪話……
國民保健の大問題 此の如き人は肉食は害 此の如き人は菜食せよ
▽肥滿者の肉を好むは病的か ▽便秘に惱む人に適當の食物は何か ▽神經過敏の人、貧血の人に特に何故肉が大禁物か ▽習慣病、痛風病に適する食物 佐々廉平 學博士
樺太寶庫の鍵…… 栗原白嶺
權一本が初めの資本（立志談）
人物採用法の根本改革…… 澤田博士
十大紡績會社比較
東京京橋實業之日本社（振替三三六番）
九月一日發行 一册十八錢 一年五圓 半年二圓七十錢 送料一錢五厘

開堂創立明治二十八年 時計及蓄音器卸商 TRADE MARK K 京城黃金町二丁目 喜多金光堂 電一〇一五・替振京城七八二

生徒募集 私立京城中等夜學校 學科 修身、國語、漢文、英語、數學、地理、歷史、簿記、法制、經濟 入學志望者は九月十五日迄に申込むべし〇十月一日授業開始〇 京城南大門內（御申越次第詳細目錄送呈）

堅牢にして尙外觀に曲線美を有する我竹內ベント金庫は東洋金庫界の權威なり 京城本町 熊平支店 電話長三一六一二五四番

簿記 通學生募集 寄宿生募集 校外生募集 當時大盛況 東京芝區櫻川町十一番地 私立認可 日本簿記專修學校

資本金壹百萬圓 京城 株式會社 漢湖農工銀行 支配人 遠山熙 不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候 支店所在地（開城、春川、大田、江景、公州、淸州、忠州、論山、鐵原、鳥致院）普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

毛布新荷著 二枚續キ ラクダ色、白色 ネヅミ色 各種 金參圓五拾錢以上五拾圓迄 其他旅行用具一切 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

模造品續出御注意乞 オキシパサー 特約店 京城本町二ノ七一 酒本高明商店 定價金參拾九圓 東京市麴町區有樂町一ノ三 大日本オキシパサー商會 電話本局二六九七 振替東京二三八二一

謹告 物價騰貴の時に方り平素の御懇情御引立に酬ゆる爲め九月一日より現金賣の制度に相改め當分の間營業品一切を確實正價より壹割引にて販賣仕候間何卒倍舊御引立の程伏而奉懇願候 京城明治町 唐川吳服店 電話二六一番 各位

編上靴 一枚革 深ゴム靴 ▲A ▲B ▲C ……御注文の節は…… 東京芝…… 振替東京四二一七八 …… 靴商店

稻扱器 唐箕 萬石 籾摺臼 米篩及籾通 ◎一般稻扱修理に應します ◎慶尙南道稻扱修理傳習所（九月一日より開催） 釜山本町二 朝鮮勸農商會 電話長九一六二番 振替京城一五四八

建築金物 土工用具一式 和洋金物商 京城本町三丁目 佐藤牛次郎商店 電話二四三番 電略（サト） 振替口座京城一〇二番

從軍寫眞畫報＝從軍記者金谷眞撮影

（一）甲板上より前艦を眺望しつゝある○○聯隊長胸中既に籌策成る（二）二十四日早朝船は咸鏡北道が沖の沖合九十浬の海上を走す甲板には時に鴎や千鳥の飛び來るものあり騎兵○○聯隊の第○中隊長海上を睨んで佇立中一羽の千鳥飛び來るより中隊長は直らに狩へて大ニコ／＼瑞兆々々（三）騎兵少尉殿の命令に曰く一馬一回分の食糧と云ふ、イヽか、燕麥一升三合、乾草四百匁、秣四合、鹽三匁をやれ、航海中は鹽の多いがよい分つたか『ハイ』愛馬の首を撫しつゝ『オイ今度はしつかりやつて呉れ頼むぞ』

○毛づくめの防寒服

身の廻りだけでザット十一貫からの重さがある
—西伯利出征將卒の冬仕度　軍馬は極寒に堪へ得るか—

西伯利亞の寒氣は日と共に進み十月初旬には雪も降れば氷も張る、そして同下旬には見渡す限りの茫漠たる曠野山河悉く大氷原と化して了ひ極寒には氷點下五十度位まで下降するから此の寒さと鬪ふべき我出征將士の困苦は今から想ひやられる

★陸軍當局 は去る日獨、日露兩戰役の經驗並に歐洲戰場に於ける冬營等に鑑み將卒の防寒具には十分の研究を施し我邦獨特の理想的防寒服が案出され今次西伯利亞出征將卒の用ふる所となつて居る服裝は普通上衣より少し丈が長く胴著式となし裏には を著け活動する場合には其襦を外すやうになつて居るズボンも靴も同樣内部に温かい毛皮が著けてある又顔面を襲ふ寒風を避くる爲めには額當て眼當て耳當て孫があつて功に軟かい毛が配つてある、で此防寒服を著けて銃砲彈藥等を携帶すると身の廻りだけで

★約十一貫 もあるさうだ、將卒は先づ是れに依つて極寒に堪へ得らるゝが扨て騎砲兵等に重要なる乘馬や輓馬は果して西伯利亞の極寒に堪へ得らるゝであらうか、當局の語る所に依ると軍馬は如何なる程度まで寒氣に堪へ得るかを試した記錄はないが西伯利亞各地に

★永住した 人々の經驗と實驗とを綜合して想像することにしてある

馬は先づ大概の寒氣には怺へ得るやうである、日清日露の兩戰役の際にも可なりの寒氣に堪へて居る西伯利亞の極寒でも晩秋の頃から馬を彼の地へ持つて行つて置くと寒氣の加はるに從つて

★馬の全身 の毛は漸次延び更に綿毛が澤山に生えて自然に防寒し得られるやうになる但し水中を驅驅せしむるのであるから餘の著しい居る氷雪に蹄鐵をつけることにしてある

□良子女王 御快癒

靜養で鎌倉今小路の御用邸に御避暑中の久邇宮良子女王殿下には既に拜記せるが如く過般來御微恙の爲御加療中なりしが既に全く御快癒遊ばされ御床上げあらせられたる由に承はる

○殺戮、放火、掠奪、暴狀言語に絶す

—輯安縣を襲へる馬賊團　日本巡査二名行方不明—
◇…交通不便の爲め救援隊の派遣は却々困難◇…

去一日午前四時頃約三百名より成る馬賊の一團鴨綠江の上流（安東縣より約八十里）の輯安縣通溝城を襲撃して知事公署其の他の官衙公署を燒き掠め多數の官民を拉去したる事は既電の通りなるが其の安東縣警務署に達したる電報を綜合するに同署淺見巡査は梅澤巡査と交代の爲め三十一日夜同地に到著したるに翌一日午前四時二十分頃前記馬賊團は東北南の三門より殺到し來り知事公署巡警局門等に

▲火を放ち 官民の周章狼狽する間もなく殺戮を逞うし品を掠奪し同七時四十分頃通化方面へ向け逃亡したり此椿事出來と同時に知事は行方不明となり警務長は捕虜となり日本駐在巡査梅澤、香田、淺見三氏及び巡捕與某外に鮮人二名支那人約百名は人質として拉去されたるが後淺見巡査は徒歩逃歸の兩名は『日支軍隊が追撃せざるよう交渉すべし』とて途中より放還せられたり尙官衙民家の燒失したるもの約三十戶彼我の

▲死傷廿名 内外を出したるが我が駐在所は武器彈藥の外現金約三百圓を掠奪せられ又邦人高屋某は現金二百圓を掠奪せられたりと由來同地方は馬賊の出沒絶え間なく殊に去る八月二十日頃には同地を北方に距る約三十里の臨口縣管内林子頭第二區巡警駐在所に約百名の馬賊襲來し巡警四名を銃殺して銃器彈藥を奪ひ輯安縣方面に逃亡したる事あり今回の馬賊も同一團なるべく

▲其頭目は 占中華と稱する三十前後のものなりと殊に同地方は交通甚だ不便にして安東縣より舟便を借るも約二週間を要し又降雨出水の際の如きは二十餘日を要する處なるを以て急に救援隊を出すは甚だ困難なりと云ふ因に二日正午迄の情報に依れば香田梅澤兩巡査の消息は全く不明の由なり（安東）

○饑餓に泣く露人の群

◆悲慘な西伯利民◆　救世軍ヒル中校談

救世軍京城本營にては西伯利亞で從軍傳道及び地方救濟に從事する爲め救世軍士官學校長ヒル中校、金牧救世軍ロード少校を派遣一切の狀況を視察させてゐたが兩氏は二日夜大門驛著列車にて歸京したヒル中校は語つて曰く

▽愈々何時 頃出發するかと云ふ事は司令官のフレンス大佐の命令を待たねば判らぬが既に滿洲の報告はして置いたから近く活動を開始する事にならう然も今度のこの計畫は非常に大仕掛にやるものである、私の視察したのは地方救濟の方面で從軍傳道の方はロード少校が觀察して歸つた

▽哈爾賓は 多數の地方民が避難して來る爲めかドノ旅館にも空間は一つもなくお蔭で私は二晩も鐵道の荷物置場に寝た位です哈爾賓では餘り救濟の必要は認めぬがこれから北行して、ブクドウ、テスカラー、ヘイラ方面の戰場は實に慘憺たるものである私の行つたのはヘイラまでゞすが此處には住むに家なく食ふに糧なき哀れな露人が

▽八千人も ありました、尙ほこれから北へ進めば進む程悲慘の度が加はるやうです、それでもまだ現在では然う逼迫したとは云はれぬが今後六週間もすれば愈々實際に救濟して遣らねばなるまい、つまりその頃になると家もなく食もなき人達の上に更に猛烈な寒害が襲ふて來るからだ、まだこの種の傳道なり救濟なりは他に行はれて居らぬので一般に非常に歡迎を受け露國官憲の如きも救濟に要する

▽建物など を供與して呉れる事になつて居る、何分西部戰線の如きと異つて土地や戰線が廣い爲め我々の方でも非常に困難な仕事と云はねばなりません

□首相官邸の清興

併合當日第九年の記念祝宴

八月廿九日—日韓併合の決行されたる其日は丁度もう九年目になる寺内首相は當時其の衝に當つてゐたので爾來年々此の日に記念の宴を開く事を例としてゐるので今年もその記念の日是に關係のある人々を招待せられた『午後六時半より開催すべし』といふ案内狀に接して第一番に馳せ付けたのは

◈征露の役 に驍名を謳はれたる兒玉如忠將軍、續いては石塚東拓總裁、小宮前李王職次官、松永京畿道長官、外波海軍少將等で時計の針が縱一文字になつた頃は來客既に四十名に達してゐた、石井中將、倉富前度支部長官、美濃部鮮銀總裁の殿りで略人員は揃つた、軈て寺内中佐同中尉の兩令息を伴なうて大廣間に現はれたのは今夕の主人公前の朝鮮總督寺内首相であつた

◈團扇片手 にニコ／＼と各來客に挨拶が濟むとそろ／＼雜談の森に入る時に微笑を含んだ首相は或人に向つて『此頃新聞に頻りに私の事を無爲無能と書き立てゐる、そこで突然一句浮んだ無爲無能飲まず食はずに二星霜とはどうだらう是でも物になつてゐるかね』とあつたので一座釣込まれて大笑ひ……それから間もなく一同は大食堂に案内されて定められた席についた、先づ主人役たる首相の左右に

◈倉富石塚 の兩氏首相に對した正面の席に有松法制局長官其の左右に荒井前度支部長官、柴田前文部大臣外側には石井將軍、小宮前李王職次官の諸氏が坐る。向ひ合つた首相と有松長官との頭は煌々と輝き渡る天井の電燈に何れ劣らぬ光りを競つて其左右には何れも皆半白頭の諸氏、歲月の流るゝのが今更に早きを感ぜられるやがて滑められたる食卓には伊勢蝦冷製、軍鶏燒などの珍味が運ばれる。

◈酒盃の間 興酣にして首相は起つて左の挨拶がある。本日は態々御來駕を仰ぎ茲に祝宴を開くる事は不肖の欣幸とする處である、歲月は流るゝ如く日韓併合より早や九年目の今日を迎へた非才何等功德なきも諸氏の御協力に由り朝鮮は漸次化に治ふ狀態となり、現に今日に於ては米穀暴騰の資料を彼の地に求むる狀となつた、是の如きは諸氏と共に大いに慶賀すべき處である自由に是もとに諸氏の御協力に依つて朝鮮の健全なる發達を祈る次第である、今夕は何の御馳走さても無いが悠々御歡談あらん事を望むと述べ終ると、來賓側を代表して

◈有松氏の 笑辭があつた。曰く

朝鮮が合併してより早や茲に九周年となり、當時の總督たりし現首相の非常なる御勢望に依りて著々開發の緒に向つて居ります、不佞は先月中支那を見る機會を得ましたが非常に進歩を來して居る事を思ふのであります、けれども共見聞せし處の物に皆非常な進歩を來してゐて眞に豫想外の朝鮮であります、是皆首相の統治宜しきを得た結果と思ひます茲に御挨拶を致しますが非常なる興味を感ずるのであります

かくて再び快活談や時事談に花が咲き七時半に到りて漸く一同食堂を退いて

◈楓樹の綠 滴らん許りの中庭に出でたこゝには周圍の楓樹の間に吊るされた岐阜提灯の影も床しく吹き送る涼風を浴びつゝ雜談笑語興盡くるを知らず八時半頃倉富帝室會計審査局長官先づ去り續いて順次退散首相は副官及び寺内中佐と共に自動車の警笛緩やかに麻布の本邸に向つた（東京）

[illegible]……同時出發せり（東京特電）

[illegible]……は賣物多く折柄大阪……二十七圓七十五錢……報に〃落に辷り……七錢と打止めたり

三日の十一月限　後場　寄付　止め　高値　安値　[illegible]

○レニンは斯うして一少女に狙撃された

莫斯科よりの無線電信に據ればレニンは勞働者の會合より歸途に就かんとしたる際智識階級に屬する社會革命黨の一少女の爲め狙撃され三彈を受け右の銃丸は兩肩に命中して肺を傷つけ重態となり遂に死亡せるなり（アムステルダム電報）

▽獨逸に取て大打撃

西、利の過激派には變化無からん

某獨逸新聞はレニン死去に就きては此筋には單に遊撃の報あるのみなるが遂に死去りとせば獨逸に取りては大打撃なるべく西伯利亞の過激派はレニン政府と關係なければ之が爲め何等の變化なかるべしと語れり（東京特電）

○ドンと云へば日本兵

無邪氣に武器を較べ合ふ日本兵　戰線より歸れる某大尉の談

近シマコフカ方面の戰線より歸朝せる某大尉は語る同方面は今正に晩秋の氣候で女郎花桔梗などが野を綴り天空澄み渡つて大陸的の風物は壯快であるクラエフスカヤ附近にてチエック軍と過激派兵の戰死體に

★野花を手向 くる我兵があつたには無限の感に打たれた一體に水質の惡いのと夜間の冷氣を知らず外套を用ひないので兎角風邪を引くものが多い聯合各國兵は無邪氣に武器を比較し合ひポケットまで探り合ふ程親密さで日本兵の勇敢なるを知り『鐵砲のドン』を背がする『一寸來て呉れ』抔と云ふ程だ

★某國兵もあ る程勇敢無比な麥少佐は沼地の芦中を突進中敵の手榴彈が腹部に命中して五體は微塵に碎けた、ウエトーラヤ河に迂回して奇功を奏した西田中隊長も同期生の猛者であるが同大尉は敵は大砲の應援中のみ可なり活動するが小銃戰には大抵退却する流儀だから我兵の突進には閉口の體だつたと語つた

○自稱中將 はお尋ね者

八月十日釜山を經由して下關に上陸したる後行方を晦ましたる露國過激派の陸軍中將と稱するアレキサンドル、トクジャレス氏は全國警察署にて其行動を注目中二十九日に至り横濱市山下町オリエンタルホテルに露國機械商アレキシーフ（二六）と僞名して投宿し居たることが卅日朝再び何れへか行方を晦ましたるより又復捜査中なるが東京神奈川縣警察署に於て探知したる方面に入込みたる形跡ありと

◇今年の富士 登山者は……

＝＝七萬六千餘人

富士山は例年通り二十一日閉山式を擧行せり、然し同閉山後と雖も中は登山者少からざるより山内の勞働は雲に支へなく、宿泊者は勿論強力出所も十日過ぎまでは閉鎖せざるも頂上の便局は三十一日限り閉鎖せり、尙ほ七月一日の開山式以來八月二十八日までの筋の登山者に因る調査中男六萬八千五百八十八人女五千九百八十四人にして昨年に比し男一千六百二十人減じたるが此は開山後七八月四五、六の三日間山上に暴風雨ありたると、引續き各地の米騷動により、低に減じたる結果にして又女の三千百十一人增したるは近來女學生の登山激增したるに因れりと

○染料工場燒く

二日午後日本染料會社大阪工場の一部は火災にて燒失せり（大阪特電）

○醫學生の投身

愛知醫學專門學校生徒にて長野縣東筑摩郡岡田村大澤光二（二〇）は今回實兄の出征に際し郷里犀川の上流なる風景絶佳の處より投身し生死不明となれり同人は平素宗教哲學を論ずるを好み投身の前日親友と死に就て大いに論じたりしと（長野電報）

○五升券復活

一升券と振替へて

京城救濟會にては各町洞總代其他の希望に依り成るべく多數の細民に對し其の救助の手を伸べんとの趣旨を以て一時中止せし五升券を三日より當分の中一升券と振替へ便宜取扱ふこととなれり廉賣方法改正後九月一日及二日に理事者側より町洞總代に配給せし廉賣券の數は五升二升一升券を合し兩日とも一萬八千四百枚を算せしが右の五升券を一升券に振り替ふる結果約七千六百枚を增加し二萬六千枚を各町洞總代に配給したる事となれるが更に四日よりは約三萬五百枚宛を發行することを得べしされば各町洞總代に於ても向後廉賣券の交附に餘り骨折らぬやうになるべしと

□救濟會寄附

金百圓　中券番組合一同
金百圓　子爵李根澤
金二十圓　金益洙
金一千圓　大日本麥酒株式會社京城出張所
金五十圓　子爵李載崐
金百圓　朝鮮實業株式會社京城支店
金二十圓　鄭仁鎬
金五十圓　子爵任善準
金二十圓　許澤
金十圓　金文鎬
（本社經由（以下四口））
金百圓　侯爵李載覺
金五十圓　子爵權重顯
金三十圓　銀房都中
金十圓　李憲永
小計一千六百六十圓
累計金八萬九千百六圓二十錢也

○約三千人に約百石の米と粟を施與

京城救濟會に於ける赤貧者救助施米狀況を聞くに九月一日迄の救助高累計内地人に對し米粟施與夫々四石二斗七升宛朝鮮人に對し四十三石六斗五升宛にして施與人員内地人二百八十七名朝鮮人二千六百八十八名を示し内鮮人を合計すれば米四十七石九斗粟四十七石九斗を一千百四戶二千九百七十五名に對し施與したる譯なり廉賣は九月一日より種々の變更ありたるも赤貧者救助施米は從來と何等異なる所なく警察の調査による施米券の交附を受けたるものは明治町二丁目元淺城病院跡若しくは京城府の出張所に就き米及び粟の施與を受くることを得

○電話帳の樣な職員錄

五六日頃發行

大正七年の職員錄は體裁を全然かへて近日中に發行の運びになる右に付印刷局活版部の吉岡工師は語る『從來のは甲乙の二部に別れて非常に取扱ひに不便だつたので今年は大きさを倍にして一部にした内容は矢張り内閣から始めて是迄甲の部に屬したものを前に乙の部に屬した地方廳のを後に編纂した恰好は背に『職員錄大正七年五月一日現在』と記入してある外は電話番號帳に似てゐる中身が千頁以上にもなる索引も出來る限り附いてゐるので總體では千百七十五頁夫に目錄や官等表など部合よく拵へた積りである廿九日全部印刷を終り三十日から納本に掛つてゐるが何分二萬部以上の數だから發行は五六日の頃になるであらうと（東京）

○關西中學生騷ぐ

岡山市の關西中學校生徒は校長を擁して經營者及び教頭排斥の運動を爲せり（岡山電報）

○節婦に惠む

咸北會寧郡守江田重雄氏は先頃管内巡視中八乙面にて節婦李氏の健氣なる動作を感賞し面事務所に勤務し居れる同人息に對し舅姑たる母を助け孝養すべく勵ましたる上金一封を李氏に贈りたるが一同深く感動したりと

○山室大佐講演

救世軍大佐山室軍平氏は愈々來る十二日午前九時卅五分南大門驛著入京の豫定なるが同日午前八時より奬化門前に於て第一聲、十三日午後八時より本町時報館十四日午後一時より龍山鐵道俱樂部午後三時より黃金館の順序により傳道講演を試むべし

◇各地の白米

＝三日小賣値段電報＝

▲群山　一等白米一升四十一錢變動なし正米三十四圓見當なるも天候良き爲め安氣配なり
▲全州　變動なし

讀者文藝（一篇に付五十錢の切手券を呈す）

◎聰かさした話に母は涙ぐみ　二等　京城光熙門外新堂里　千葉直一

▲川柳「涙」
▲泣てより飛ほしても出る涙　岡辻畔　寄峰生
▲その涙いつも男がしてやられ　京城　健兒
▲廢帝の涙が生んだチエック軍　徐二浦　きの字
▲外米の粥は涙と汗を出し　京城　炳山生
▲さればとて姑に涙なし　京城　茂呂案
▲出港の旗に涙をふく　平壌　一秀月

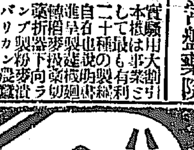
高貴藥配合　最新良劑
くだりどめ　清腸（セイチヨー）
高橋盛大堂藥局試驗部創製
主効　◎腸加答兒　◎痢病　◎霍亂　◎裏急後重　◎腹冷　◎水瀉
其他諸病より起る一切の下痢に用ひて大効あり
價　拾錢・貳拾錢・五拾錢・壹圓
本舗　大阪市堂島元與橋　高橋盛大堂藥局
◎到る處の藥店に販賣す

富の道しるべ　山縣五十雄村上唯吉共著　價十五錢郵税二錢　京城太平通　振替京城二三〇　京日代理部

朝鮮興成　宇佐美製粉所

一、和紙屑紙約四千貳百七十貫匁
一、古金物類四點
右各別ニ拂下ク詳細ハ九月四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

百圓內外實收
他に類のない自宅新事業
無資本同樣誰でも金儲は樂に出來る一人一ケ月責任保證
廢物利用最新有利新事業を公開す今までの內職とは全く異り定員數を授をなし成功保證獨占的利就業せしむ詳細ハガキで申込ば事業方針を報導す東京神田猿樂町二ノ武　日本化工製藥社

大正式製袋機

東京本所長崎町三日本機具提供

流經新藥レスブリン　月經
閉止四五ケ月以內に謂實ての流經作用を以て容易く應用の目的を越す藥價一瓶金一圓
大阪北區曾根崎上二丁目三六地　常盤藥院

ハカリ印のヘブリン丸が
かぜ　ねつの
最良藥として專ら賞用さるゝは配劑の妙を極め其効驗頗る的確なるに因る

一、當社第一回拂込株金領收證紛失公告
右紛失ニ付無効トス
大正七年八月三日　京城永樂町二丁目七番地　朝鮮紡織株式會社

京日案內
普通一回前金一行金七錢　番外壹行
▲申込は前日午後四時まで
▲六回以上の御申込は割引
▲郵便切手以外は代金引換に

◎看護婦及見習看護婦入用　希望者本人來談あれ　京城櫻井町　電話二一七番　池上醫院
◎代診一名藥局生一名看護婦二名見習看護婦一名至急採用　希望者は履歷書送れ
店員入用　十七歲以上廿五歲迄の店員三名入用市內保證人を要す希望者は本人來談あれ　京城本町一丁目　陶磁器商　陶榮商會
女子募集　十四歲より十七歲迄の內地人女子高等小學卒業程度事務掛にて承合すべし　總督府印刷所
給仕採用　十四歲より十七歲迄の小學卒業者履歷書携帶來談あれ　東洋拓殖株式會社京城支店
恩給立替　御相談致します　電話三〇〇番　西村商會
高給外務員招聘　希望者は履歷書携帶午前中來社　黃金町二ノ九六　日本生命朝鮮支社
牛乳配達人至急入用　京城藥峴町　東亞牧場
讓店　少額の資金にて十分利益ある店舗を讓る
恩給年金證書　利息低利保險不要　京城永樂町　江州屋本店
ほねつぎ　うちみくじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場

○印度行船注意 すべきものの如く之が爲め…… 關西市場に於て織物なる買煽りを…… 銀行し更に東京市場にまで其の手…… ふ爆發的商狀を呈するに至り目先なり出來高も斷く三…… の狀態となれり蓋し本年……

▲漸次に壓迫 を加へ來…… るべき懸念なきにあらず而して…… 貨物の需要等に於ては…… 若くは此等の方面より印度に至る……

課題及び募集規定
□募集規定 ▲用紙は…… 書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲……

妻の心（八十二）

十四の一 小林蹴月作 武内桂舟畫

『駒子、お前の苦心は察してるよ。一面には禮子への義理で、萬事控へ目に爲ねばならんし、一面には僕の機嫌氣褄を取つて、何から何まで世話を爲にやならんのだから、ね併しだね、石の上にも三年と云ふから、遠からぬ内、乾度お前の樂になる運命が向いて來るに違ひないんだ。辛抱次手に辛抱して呉れるより仕方がない。』

『あら、旦那樣、妾の辛抱よりは貴郎が只今の通り、何時までも御辛抱遊ばして下さるのが、何よりも肝腎で御座いますわ。妾はもう最初落籍して頂く時から、此の位の辛抱は覺悟の上なんで御座いますから……。』

散歩に託けて、日容方から駿河臺の屋敷を立ち出た町川と駒子とは、かねがね馴染の深い代地河岸の待合倉島と云ふのへ立ち寄つて久々に茶屋酒を味はひながら、睦まじくも遺瀝話をやり始めた所である。

『あッは、は、は、僕に永久今通りの辛抱をつづけろと云ふのかね、お前は。』と、町川は稍訝しむやうに、駒子の横顔を眺めて。

『お前が辛抱しろと云ふなら、勿論一生涯の辛抱でもつづける氣なんだが、駒子、お前の方で、その實辛抱が仕かねるやうに思ふが、その邊は什うかね。』

『あの、妾に辛抱が出來かねるだらうと被仰るの、貴郎は。』と、駒子は一寸怨ずるやうに男の眼を睨み返して、

『失禮ながら、彼アしたいきさつから、揉つた揉んだの揚句に、お屋敷へ引こつて頂いた妾なんで御座いますもの。貴郎が假令出て行けと被仰つても、奥樣のお口からお斷りのない以上は、妾、金輪際出て參る了簡は御座いませんのよ』

『いや、その邊の消息なら、僕にもちやんと分つてるのさ、分つては居るけれどもね、駒子、其處が分つてる丈に、僕は内々お前と云ふ者の心事を疑つてるんだよ。』

『まあ嫌だ。妾の心事をお疑ひになつてるとは、そりや什う云ふ事なんで御座います。』

『什う云ふ事は、僕の說明を待たずともこつちやないか。お前は元來僕に對する誠意とか赤心とか云ふものがあつて、僕の手元へ來たのではなくして、禮子から涙を流して縋り頼まれた餘儀なさに來たのであらう。然すればだね、駒子、お前の腹を斷ち割つてだね、禮子への義理と、僕に對する誠意眞實の分量とを秤に掛けて見なさい。果して、何方が重いか、分るだらうぢやないか。今更になつて愚痴がましいと思ふかも知れんが僕は近頃、何處となしにその邊の寂し味を感じて、ともすると、お前の町川家に居て呉れる未來も、餘り長からんやうな氣がしてならんのさ。は、は、は。』

例のわる口から出た皮肉と聞き流せば何でもないやうなものだが駒子には、何となくその皮肉の底に針でも含まれて居るやうに聞えた。

『まあ、お聞きすればお聞きする程、妙な事を被仰いますわね。妾の了簡では又、奥樣の爲めにお盡しするのは、即ち貴郎にお盡しするのと同一だと心得て居りましたので、詰まる所は、何方に重い、何方に輕いと云ふやうな區別はないやうに思はれますんですが……ね。』

『そりや不可よ、駒子。』と町川は拍子取るやうに酌ぎ立ての猪口を、ぐいと呷つて。

『禮子と僕とは、夫婦には違ひないが、人間は別々なんだよ。いや精神が離れ離れなんだよ。以前は或は一緒の時代もあつたかも知れんが、何ぼ以前が一緒だからと云つて、獨逸軍に附いて了へば露西亞も既う日本の敵だからね。お前は只女同士の同情心から、禮子が氣の毒だとばかり思ひ込んで居るのであらうが、其の氣の毒な點を云へば、僕が一番氣の毒の境遇と云はなきやならんのだ。』

『ほ、ほ、什うして貴郎がお氣の毒な境遇でお在るんでせう……!。』

『氣の毒でなくて什うするもんか本妻は有つても無きに等しく、お前と云ふ女は、此方の思ふころ十分一も思うては呉れんしさ。』

『でも貴郎、奥樣や妾の外にもまだ……。』と、駒子は、思はず彼の阿兄の方の事を云ひかけたが、阿兄の歟一の事が不圖胸に浮かんだので悚然としながら慌ただしく口を噤んだ。

○廣告料當て込みで ▽看板借りの ▽小新聞雜誌

警視廳は嚴重に取締る

府下に看板を掛けてゐた小新聞小雜誌に對しては發行所に於て發行すべき旨警視廳より申渡されて府中管内八王子管内の所謂看板借の新聞雜誌に大恐慌を來しつゝあつたが其の後

◇取締の手を更に緩めず遂に其の事實◇

あるもの八社を告發したが爲めに彼等は取急ぎ善後策に狂奔したが八月に至つて始末のつきたるものは大分に出來、府中署管内から東京市内へ移轉したるもの八社、八王子から市内へ一社

◇保證金調達出來ずに遂に廢刊◇

したものは紙價暴騰の爲め一時販賣物は非常に減退したが近頃になつて又もや增加の氣味を示して來た、それは近時各種商工業の好景氣なる爲め小成金が簇出し從つて廣告料の如きも今まで一圓位で追拂はれ居つた

◇小新聞雜誌が五圓位も貰へる◇

といふので廣告丈けで營業しようといふ目的の者が增加したのに據るさうである、それで新聞紙法適用のものは東京府下に於て七月一日現在八百三十三のものが八月一日過ぎの

◇八月一日現在で八百四十四社に◇

なつてゐる其の内譯を示すと有保證金のもの日刊新聞一種、日刊無保證一種、雜誌が五種、無保證の雜誌が四種であるさうな、所で先づ保證金の關係から事實

◇東京市中に於て◇

發行しながらも府中で十二社、八王子で二社、又現在看板の場所で事務所を借受け實際看板の場所から發行する樣になつたのは四社である尙移轉するに金はなし取つた廣告料は費消したので

◇廢刊するに廢刊されず宙に迷つて◇

ゐるものは十社あるといふが警視廳特別高等課に於ては尙嚴重に取締を勵行するといふ

◈かやく飯

＝東京府で發表した＝

井上府知事は今回雜穀食奬勵を發表しました。そして白米を加へた各種の飯の炊き方までも發表しました

□南瓜飯□ 白米一升に南瓜を五六分に四角に切り、それを鹽又は醬油で味を付ける、水加減は一升六合乃至一升八合位で、炊き上げたら三十分間程蒸して後食ます。

□卵の花飯□ 白米一升を炊いてそれを移す時に味のついた卵の花を一升程混ぜて食ます。

□薩摩芋飯□ 白米一升に芋を輪切り又は角切りにしたものを入れて炊きます。

□馬鈴薯飯□ 米一升に、五分程の大きさに切つた馬鈴薯を味をつけて入れ、一升三合位の水で炊きます。

□鳩豆飯□ 米を普通に炊き鳩豆を一時間程水に漬けて煮、砂糖を少し加へ鹽辛く煮た鳩豆をかけて食ます。

□外米小豆粥□ 外米四合に小豆一合の割合で粥を作り、それに豆の粉四分新粉六分を加へた團子をこしらへて實に入れます

□栗飯□ 米一升に栗一升、之れに三百目の薩摩芋を入れ煮立つた處へ栗を入れます。

日報歌壇

◇秋立つ 利原雪子

思ひたるが幸福も悲しさに似て涙ぐましく秋さしなれば

やうやくに肉づきそめし腕を見る秋に入りしかわれの喜び

◇ 岩田艶代

いさゝかもただ生きのびてあるわれを愛でゐる人のあるを悲しむ

たゞ一人ものいふ事もうとくして君がみなば忘れんとする

◇ 京城 芳月

出征の旗ひらひらと塗り行く人々の顔に夕日さしけり

◇ 爽子

盆山の胡瓜畑のきりぎりす鳴くなくべし八月のゆく

◇ 新都 優梨子

いんげんの豆のびにけり桑の木にからまりにつゝなほものびゆく

◇ 紫牛

うち仰ぐ空はも曇りさしくもうまれぬきたり秋の夜の星

○氣候の變り目と胃弱 [illegible]

○大正エス式胃藥發賣 [illegible]

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 [illegible] 京城 寫眞製版部

○煙パイプ [illegible]

新刊紹介（到着順）

△遞信協會雜誌（八月號）[illegible]

△人を見よ [illegible]

△婦女界（九月號）[illegible]

讀者の領分 [illegible]

好評經濟的事務用 金ペン付 パインビジネスペン 定價壹圓九拾五錢 京城太平通一丁目 京城日報代理部 [illegible]

桃谷研究試驗所製

光榮ある御化粧料 三十六種の内

美顏水

白粉の使ひ方と垢ヌケ

間違なくお化粧の困難を取去り、すらすらと勞なく、濃化粧なり、薄化粧なり、思ふ通りに氣持よく美しくお化粧なさるには、美顏水で白粉を溶き延ばしてお使ひなさるのが一番確かな良い方法である事は、大多數の方が御承知の事でございます。美顏水の此の力は全く外に例がないと申しても過言で無いと桃谷研究試驗所では確く信じて皆樣にお薦め申して居ります

事實で御覽なさいまし、それこそ全く思ひの外で、「化粧困難」といふ事はすつかり忘れて終ひます。白粉は何の苦もなくすら〳〵と良くのびて思ふ通りに附き、それに何とも言へぬ美しい光澤が添ひますから、その上品な高尚なお化粧榮は又格別でございます。それからよく

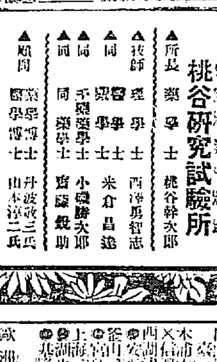
垢ヌケした方と言はれる方があるものですが、垢ヌケして美しくなるのには美顏水を常用するのが一番よいと云ふ事も、大多數の方が御承知の事でございます。これは美顏水には桃谷研究試驗所で發見致しました或る美容成分が入つて居りますので、之れが皮膚の新陳代謝を活潑にして、顏の生地が常に活々と、新しく清く保たれる作用を致すのでございます。美顏水の此の「垢ヌケ」の作用は白粉のトキ水としての作用と共に、また外に無いものと言はれ益々盛に世の御愛用を蒙る種となつて居ります。

◇チバリ氣なしに荒れを防ぐ作用が備はつて居りますので、チバリ氣をお好みにならぬ方々によく、また蚤、蚊、南京虫など毒のある虫に螫された時にも美顏水を附けますと皮膚が大變に氣持よく、その毒を防ぎ、螫された後が腫物などになりませんので、お子方のある御家庭などには殊にお喜びを蒙つて居ります。

◇にきび、吹出物などでお困りの方には別に「にきびとり美顏水」が御座いますから其れをお薦め申し上げます。

◇美顏水…… 定價拾五錢 廿五錢 五拾錢 壹圓

◇にきびとり美顏水 定價拾五錢 廿五錢 五拾錢 壹圓



新美容成分を完成したる 桃谷研究試驗所

▲所長 藥學士 桃谷幹次郎

▲技師 理學士 西澤勇智志

▲同 農學士 米倉昌達

▲同 千葉藥學士 小磯勝次郎

▲同 同 藥學士 齋藤銕助

▲顧問 藥學博士 丹波敬三氏 醫學博士 山本淳二氏

大阪商船 出帆

神戸、大阪行（仁川出帆）[illegible] 後五時出

群山、木浦行 [illegible] 後五時出

木浦、大阪行 [illegible] 九月五日 後四時出

西湖、神戸行（元山出帆）[illegible] 九月八日 後十二時

釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 [illegible] 九月十四日 後九時出

上海、天津、大連行 [illegible] 前六時出 後四時出

內地各港出帆上ニ會社 [illegible]

歐洲航路御注意 [illegible]

大阪商船株式會社仁川支店 [illegible]

日本郵船 出帆

大連、天津行 [illegible] 九月七日 正午出帆

仁川海岸町 [illegible]

共同汽船 出帆

大連直行（關東都督府命令航路）共同丸 九月六日 後入港 九月七日 前出港

仁川代理店 [illegible]

元山代理店 [illegible]

京城取次店 [illegible]

朝鮮郵船 出帆

浦汐行 [illegible]

平安丸 九月七日 十日 元山發

越後丸 九月廿二日 廿四日 元山發

雄基行 [illegible]

京畿丸 九月五日 釜山發

雄基丸 九月七日 十二日 元山發

元山雄基 [illegible] 九月九日 元山發

大阪行 [illegible]

越後丸 九月六日 八日 元山發

金剛山遊覽 [illegible]

三浦丸 九月七日 元山發

備後島行 [illegible]

釜山浦項 [illegible] 毎日 釜山浦港發

濟州島行 [illegible]

西江、東江 [illegible] 九月六日 九日 木浦發

濟州島行 [illegible] 九月八日 釜山發

釜山麗水 [illegible] 毎日 麗水發

木浦麗水 [illegible] 九月四日 木浦發

多島海行 [illegible] 九月十四日 木浦發

全州丸 九月六日 仁川發

海州行 [illegible] 毎日一回 仁川海州發

晉州丸 九月九日 仁川發

南陽丸 [illegible]

高島行 [illegible] 江原丸 九月五日頃 仁川發

朝鮮郵船株式會社 [illegible]

本社 京城南大門通 電話 二一二二 一九五三

釜山支店 元山出張所 仁川出張所 木浦出張所 [illegible]

京城取扱店 [illegible]

京城南大門驛前 松原運送店 電話 七〇番

其他各寄港地に荷客取扱店あり